



福岡医発第1082号(地)

平成23年 7月29日

各医師会長 殿

福岡県医師会

会長 松田 峻一 良

(公印省略)

地域がん登録の実施に係る説明会の資料送付について

平成23年7月15日付け福岡医発第971号(地)にてご案内いたしました、8月1日(月)・2日(火)開催の標記説明会につきまして、今般、福岡県保健医療介護部健康増進課より資料が送られて参りましたので別添のとおりお送りいたします。

つきましては、地域がん登録に関するお問い合わせが会員医療機関よりありましたら、福岡県保健医療介護部健康増進課保健事業係(Tel: 092-643-3270 担当: 荒木)まで直接ご照会いただきますよう貴会のご高配方よろしくお願い申し上げます。

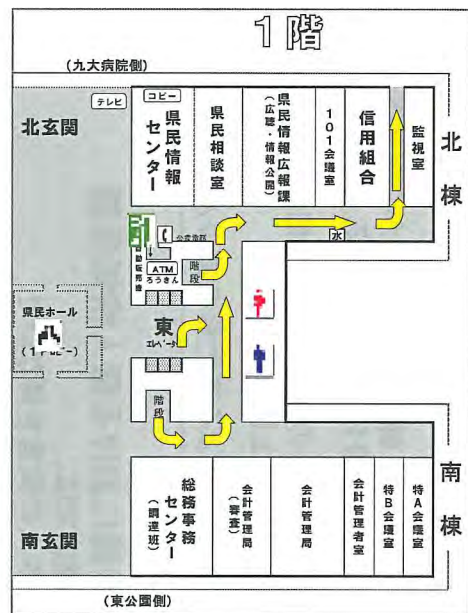
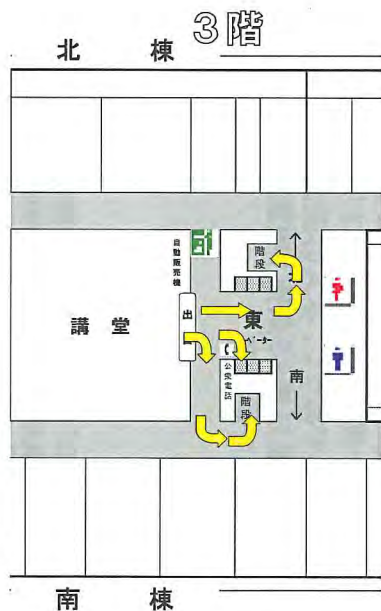
小郡三井医師会より

地域保健担当理事 名取一幸
会長 蒲池 壽

地域がん登録の実施に係る説明会

平成23年8月1日・2日
福岡県庁3階講堂
福岡県保健医療介護部健康増進課

- 1 開会 18:00～
主催者挨拶
健康増進課 課長 白石 博昭
共催者挨拶
福岡県医師会 常任理事 山岡 春夫 氏
- 2 福岡県地域がん登録の概要について 18:15～
健康増進課 企画監 中原 由美
- 3 届出票の届出方法・時期について 18:35～
健康増進課 技術主査 藤下 真奈美
- 4 地域がん登録の届出票について 18:45～
九州大学病院 城 一世 氏
- 5 質疑応答 19:45～20:00



ご注意：

県庁地下・外来者用駐車場は、18:15に閉鎖されます。
もし駐車されている場合、閉鎖後は出庫することができません。

福岡県地域がん登録

【目的】

- 地域がん登録は、健康増進法及びがん対策基本法に基づき、悪性新生物（以下「がん」という）の患者について、がんの罹患、転帰その他の状況を登録するものである。
- 本県におけるがんの罹患の実態を把握し、がん検診情報と合わせて評価・分析を行い、得られた情報を県民へ情報提供することで、検診受診率の向上を図る。
- その結果、がんによる死亡数の減少とがん患者のQOLの維持・向上を目指す。

地域がん登録における個人情報保護

個人情報保護法では、

- あらかじめ本人の同意を得ないで、
利用目的の達成に必要な範囲を超えて、個人情報を取り扱ってはならない。
(第16条、利用目的による制限)
- 個人データを第三者に提供してはならない。
(第23条、第三者提供の制限)

ただし、

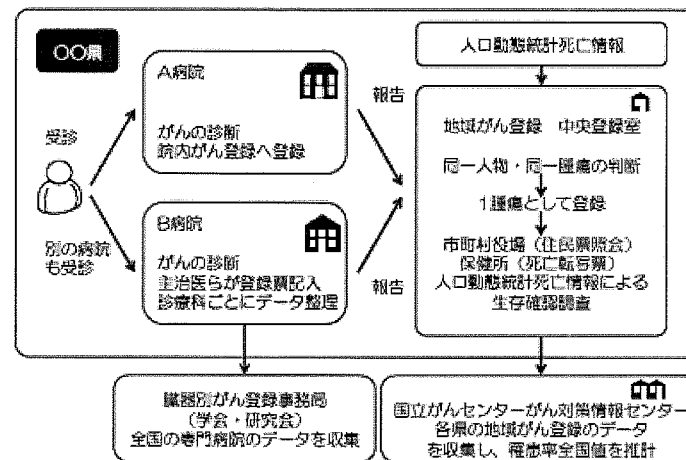
地域がん登録事業において、医療機関が国又は地方公共団体へ診療情報を提供する場合は、「公衆衛生の向上又は児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき。」(第16条第3項第3号及び第23条第1項第3号)に該当し、適用除外となる。
→本人の同意なしで届出可

『地域がん登録事業に関する「個人情報の保護に関する法律」、「行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」の取扱いについて』(平成16年1月8日付健発第0108003号厚生労働省健康局長通知)

がん登録の法的根拠

健康増進法第16条(生活習慣病の発生状況の把握)
がん対策基本法第17条第2項
(がん医療に関する情報の収集提供体制の整備等)
がん対策基本法 附帯決議16

がん登録のしくみ



「地域がん登録の手引き 改訂第5版」より引用

福岡県地域がん登録実施要綱

1 目的

地域がん登録（以下「本事業」という。）は、健康増進法及びがん対策基本法に基づき、県内における悪性新生物（以下「がん」という。）の患者について、がんの罹患、転帰その他の状況を登録し、本県におけるがんの実態を分析する等、今後のがん対策の総合的な推進を図るための基礎資料を得ることを目的とする。

2 実施主体

本事業の実施主体は福岡県とする。県は、医療機関をはじめとする関係機関の協力を得て事業を実施する。

3 実施内容

本事業の実施内容は、次のとおりとする。

- (1) 医療機関からの届出
- (2) 死亡小票（転写書類）・死亡票（転写CD-R）の収集
- (3) 地域がん登録標準データベースシステムによる登録
- (4) 医療機関への出張採録
- (5) 生存確認調査
- (6) 集計及び分析
- (7) 公表

4 各機関の業務分担及び地域がん登録室

- (1) 本事業の企画運営は健康増進課が行い、登録、集計及び分析は保健環境研究所が行う。

なお、情報の入力等業務の一部を財団法人福岡県メディカルセンターに委託する。

- (2) 保健環境研究所及び財団法人福岡県メディカルセンターに地域がん登録室を設置し、登録業務の管理・運営に係る責任者を置くとともに、医学的指導に当たる医師及び登録作業等を行う職員を配置する。
- (3) 地域がん登録室の管理責任者は、安全管理に関し必要な措置を講じる。

5 運営に関する検討

本事業を運営していく上で必要な事項については、福岡県がん検診評価点検事業推進検討会において検討する。

6 登録の対象及び項目

登録の対象となる疾患、登録すべき項目は、厚生労働省第3次対がん総合戦略研究事業「がん罹患・死亡動向の実態把握に関する研究」班（以下「厚生労働省研究班」という）が示す標準方式に準拠する。

7 登録情報等の利用

登録情報及び登録情報を集計・分析して得られた情報は次の業務等において利用する。

- (1) 福岡県がん検診評価点検事業
- (2) 福岡県がん対策推進計画の進捗管理
- (3) 厚生労働省研究班（国立がん研究センター）全国集計への提供
- (4) 届出医療機関の院内がん登録の支援
- (5) 別に定める手続により利用の承認を得た者への提供

8 集計、分析及び結果の公表

毎年登録した情報を集計、分析し、その結果を必要に応じて公表する。

9 秘密の保持

本事業に携わる者は、業務上知り得た個人情報や秘密を保持しなければならない。

10 個人情報の取扱

本事業に係る個人情報は、福岡県個人情報保護条例（平成16年福岡県条例57号）に従い適切に取り扱う。

なお、情報の収集は、同条例第3条第3項第7号の規定により本人以外から収集し、開示請求に対しては、同条例第15条の規定により当該個人情報の存否を明らかにしないで開示請求を拒否する。

11 地域がん登録の啓発

県民及び医療機関に、地域がん登録の重要性と必要性が正しく理解されるよう、関係機関と連携して普及啓発に努める。

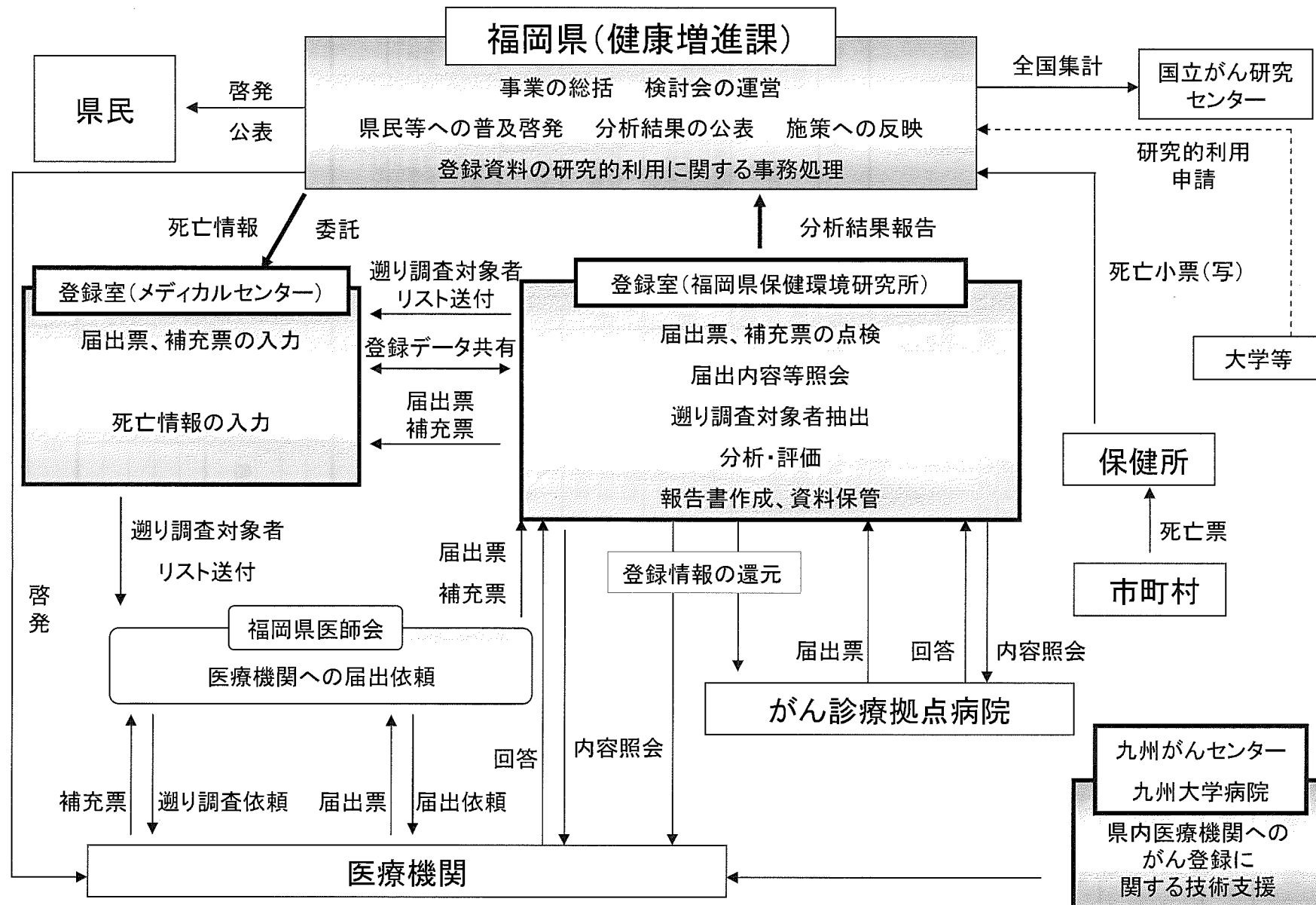
12 その他

この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、福岡県保健医療介護部長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成23年8月1日から施行する。

福岡県地域がん登録の体制図



福岡県悪性新生物患者届出票 秘

事務局 使用欄	受付番号
	受付年月日

使事
用務
欄局

医療機関	名称		照会先所属		届出者	
貴院患者ID			性別	生年月日		
姓・名 (漢字)			1 男 2 女 3 他	西暦 1 明治 年 月 日 2 大正 3 昭和 4 平成		
診断時住所						
診断名	左右 両側臓器のみ記載	1 右 2 左 9 不明 3 両側 (卵巣、腎芽腫、網膜芽腫)	病理診断名 詳細にお願いします			
	部位 臓器名と詳細部位	(例 胃U、肺S2、など) 悪性リンパ腫は「主病変の部位」を記載				
診断情報	初発・ 治療開始後	1 初発 (自施設で診断かつ/もしくは初回治療) 2 治療開始後 (前医で当該腫瘍の初回治療を開始した以降) ・再発				
	診断根拠 (複数回答可)	1 原発巣の組織診 2 転移巣の組織診 3 細胞診 4 部位特異的腫瘍マーカー (PSA, AFP, HCG, VMA, 免疫グロブリン高値) 5 臨床検査 6 臨床診断				患者の全経過を通じて、 んと診断する根拠となっ た検査に○ (初回治療前の 診断に限定しない)
	診断日	自施設 診断日	西暦 1 昭和 年 月 日 2 平成		・初回治療前に自施設で実施した検査 のうち、診断根拠の番号の最も小さい 検査の検体採取日や検査日 ・他施設診断の場合は、当該腫瘍自施 設初診日	
		初回 診断日	西暦 1 昭和 年 月 日 2 平成		他施設診断の場合、その診断日をわ かる範囲で必ず記入	
	発見経緯	1 がん検診 2 健診・人間ドック 3 他疾患の経過観察中 4 剖検 9 自覚症状・その他・不明				
病期 ・手術施行の場合 術後評価を優先 ・術前化学・放射 線治療後手術の場 合は治療前評価 を優先 再発では記載不要	病巣の拡がり	上皮内 1 限局 2 所属リンパ節転移 3 隣接臓器浸潤 4 遠隔転移 9 不明			初発の場合、病巣の拡がりか UICC TNMのどちらかは必ず記入	
	UICC TNM*	T N M ステージ			(地域がん登録では病巣の拡がりを集計す る。病巣の拡がりに記入がなければTNM 分類やその他の情報からコード化する。)	
	その他	深達度、腫瘍径など病巣の拡がりの判定に役立つ情報があれば、ご記入ください。				
初回治療 貴院における初回 の一連の治療につ いてすべてご記入 ください。 再発では記載不要	観血的治療	手術	1 有 2 無			
		体腔鏡的	1 有 2 無			
		内視鏡的	1 有 2 無			
		観血的治療を総合 した治療結果	原発巣切除 (1 治癒切除 2 非治癒切除 3 治癒度不明) 4 姑息・対症療法・転移巣切除・試験開腹 9 不詳			
	その他の 治療	放射線	1 有 2 無			
		化学療法	1 有 2 無			
		免疫療法	1 有 2 無			
		内分泌療法	1 有 2 無			
		その他	1 有 () 2 無			
	死亡年月日	西暦 年 月 日 1 平成				
オプション (自由記載欄)						

(記入例)

61歳女性

<現病歴>

2010年12月、市の乳がん検診で右乳房に腫瘍を指摘されたため、2011年1月5日B病院を受診。触診で右C領域に20mm程の腫瘍。左腋窩リンパ節転移(20mm、可動)を認めたため、受診当日、MMG、細胞診、組織診施行された。

MMGでは、右C領域に21x20mmの腫瘍を認める。また、原発巣の細胞診でClassV、組織診の結果はInvasive ductal carcinoma, scirrhous typeであったため、治療目的で当院紹介となった。

<経過>

2011年1月15日当院受診。

2011年1月19日MRI、超音波施行。

MRI検査:右C領域に腫瘍を認める。右腋窩リンパ節に転移と思われる腫大を認める。

超音波検査:右C領域に22x20mm大の腫瘍を認める。右腋窩リンパ節に転移を認める。

2011年2月2日入院。

2011年2月10日右乳房切除術を施行。

2011年2月20日化学療法を開始。

2011年2月29日退院。

病理報告書:Invasive ductal carcinoma, scirrhous type

所見:右乳腺C領域の腫瘍に対し、切除術を施行し、得られた検体である。

腫瘍径35x40mm(浸潤部23mmx21mm)

腫瘍は周囲間質に胞巣状から管状に浸潤している。

切除断端に腫瘍細胞は認められない。提出された腋窩リンパ節に転移を認める(3/20)。

登録対象と診断日

※Referencedate(登録開始日)を2011年1月1日とする。

1)

2010年12月25日 食欲不振を主訴に自施設来院。

2010年1月7日 自施設にて上部消化管内視鏡を施行。胃に病変を認め、生検施行。

2011年1月15日 組織診断の結果、胃癌と診断された。

自施設診断で初発（治療開始前）の症例。

自施設診断日2011年1月7日なので登録対象。

2)

2010年8月5日 下腹部痛でB病院初診、内視鏡下生検施行。

2010年8月10日 病理組織診断で大腸癌。

2010年8月26日 右半結腸切除術施行。

2010年8月29日 同院にて、術後化学療法開始。

2010年3月16日 B病院で経過観察中に腹部CT施行し、肝転移の診断。

2011年4月10日 肝転移治療目的で自施設紹介受診。

他施設診断治療開始後、再発の症例。

当該腫瘍自施設初診日が2011年4月10日なので登録対象 初回診断日は2011年8月5日。

3)

2010年11月28日 嗄声を主訴に、B医院初診。

2010年12月8日 同院にて喉頭鏡施行。声門に病変あり、生検施行。

2010年12月12日 病理検査の結果、喉頭癌の診断。

2010年12月19日 放射線療法目的に自施設受診。

2011年1月9日 自施設にて、放射線治療開始。

他施設診断で初発（治療開始前）の症例。

当該腫瘍自施設初診日は2010年12月19日なので登録対象外。

4)

2010年12月17日 下腹部痛のため、A病院初診。

2010年12月19日 消化管造影にて下行結腸癌疑いと診断。

2011年1月5日 精査のため自施設紹介受診。

2011年1月8日 下部消化管内視鏡下生検施行。

2011年1月13日 高分化腺癌の診断。

自施設診断で初発（治療開始前）の症例。

自施設診断日 2011 年 1 月 8 日なので登録対象。

診断日

1)

2011年5月20日 自施設で慢性胃潰瘍の定期内視鏡検査で、食道に病変を認め、同部で生検施行。
2011年5月25日 病理報告で「扁平上皮癌」の診断。
2011年6月10日 放射線治療開始。

自施設診断日： 2011年5月20日

初回診断日： なし

2)

2011年7月6日 黄疸を主訴にB病院受診。超音波にて肝腫瘍指摘。
2011年7月10日 超音波下肝生検施行。
2011年7月17日 病理報告で「転移性肝癌」と診断。
2011年7月22日 精査・治療目的に自施設紹介受診。
2011年7月24日 CTおよび血液検査を施行。
2011年7月27日 検査結果より「膵癌、肝転移」と診断。

自施設診断日： 2011年7月22日

初回診断日： 2011年7月10日

3)

2011年3月14日 子宮がん検診で要精査により、A医院受診。
2011年3月17日 同日に細胞診施行(ClassIV)。
2011年3月24日 細胞診の結果で子宮頸癌と診断された。
2011年3月29日 検査、治療目的で自施設紹介受診。同日に細胞診と組織診施行。
2011年4月5日 細胞診ClassV、組織診の結果、子宮頸癌(高分化型扁平上皮癌)と診断された。
放射線療法目的で入院となった。

自施設診断日： 2011年3月29日

初回診断日： なし

福岡県地域がん登録届出票記入要領

2011年8月

福岡県保健医療介護部

— 目 次 —

記入事例	．．．．． 2
届出票記載についての注意	．．．．． 3
各項目の記載要領	．．．．． 4
参考資料	
1. 「部位」の記載例	．．．．． 7
2. 「病理診断名」の記載例	．．．．． 13
3. 「病巣の拡がり」	．．．．． 23
— 進展度及び進行度対応表（34 部位） —	

記入例

福岡県悪性新生物患者届出票 秘

		事務局 使用欄		受付番号 受付年月日		使 事 用 務 機 局			
医 療 機 関※	名称 福岡〇〇病院		照会先所属 外科		届出者 福岡 太郎				
貴 院 患 者 ID	111111		性別※	生年月日※					
姓・名※ (漢字)	博多	花子	1 男 ②女 3 他	①西暦 1 明治 2 大正1950年 〇月 ×日 3 昭和 4 平成					
診断時住所※	〇〇市△△町1番1号								
診 断 名※	左 右 両側臓器のみ記載	①右 2 左 9 不明 3 両側 (卵巣、腎芽腫、網膜芽腫) (例 胃U、肺S2、など)		病 理 診 断 名 詳細をお願いします	Invasive ductal carcinoma. Scirrhus type.				
	部 位 臓器名と詳細部位	乳房外上部 (「乳房C領域」でも可) 悪性リンパ腫は「主病変の部位」を記載							
診 断 情 報※	初発・ 治療開始後	①初発(自施設で診断かつ/もしくは初回治療) 2 治療開始後(前医で当該腫瘍の初回治療を開始した以降)・再発							
	診 断 根 拠 (複数回答可)	①原発巣の組織診 2 転移巣の組織診 3 細胞診 4 部位特異的腫瘍マーカー(PSA,AFP,HCG,VMA,免疫グロブリン高値) 5 臨床検査 6 臨床診断 患者の全経過を通じて、がん診断する根拠となった検査に○(初回治療前の診断に限定しない)							
	診 断 日	自施設 診断日	①西暦 1 昭和 2011年 1 月 15 日 2 平成			・初回治療前に自施設で実施した検査のうち、診断根拠の番号の最も小さい検査の検体採取日や検査日 ・他施設診断の場合は、当該腫瘍自施設初診日			
		初回 診断日	①西暦 1 昭和 2011年 1 月 5 日 2 平成			他施設診断の場合、その診断日をわかる範囲で必ず記入			
	発 見 経 緯	①がん検診 2 健診・人間ドック 3 他疾患の経過観察中 4 剖検 9 自覚症状・その他・不明							
病 期※ ・手術施行の場合 術後評価を優先 ・術前化学・放射 線治療後手術の 場合は治療前評価 を優先 再発では記載不要	病巣の拡がり	0 上皮内 1 限局 ②所属リンパ節転移 3 隣接臓器浸潤 4 遠隔転移 9 不明 初発の場合、病巣の拡がりか UICC TNMのどちらかは必ず記入 (他域がん登録では病巣の拡がりを集計する。病巣の拡がりに記入がなければTNM分類やその他の情報からコード化する。)							
	UICC TNM*	T	2	N	1	M	0	ステージ	II B
	その他	深達度、腫瘍径など病巣の拡がりの判定に役立つ情報があれば、ご記入ください。 腫瘍径23mm							
初回治療 貴院における初回の一連の治療についてすべてご記入ください。 再発では記載不要	観 血 的 治 療	手術	① 有 2 無						
		体腔鏡的	1 有 ② 無						
		内視鏡的	1 有 ② 無						
	そ の 他 の 治 療	観血的治療を総合した治療結果	原発巣切除 (1 治癒切除 2 非治癒切除 3 治癒度不明) 4 姑息・対症療法・転移巣切除・試験開腹 9 不詳						
		放射線	1 有 ② 無						
		化学療法	① 有 2 無						
免疫療法		1 有 ② 無							
	内分泌療法	1 有 ② 無							
	その他	1 有 () ② 無							
死 亡 年 月 日	0 西暦 年 月 日 1 平成								
オプション (自由記載欄)	前医にて生検で乳がん診断され、精査・加療目的にて当院紹介となる。 術後補助療法として化学療法を施行中である。								

※の項目は、必ずご記入ください。

◎各項目の記載については、p 3からの各項目詳細要領をご参照ください。

届出票記載についての注意

◆届出対象は下記の通りです。

1. 診断時に福岡県内に居住している者
2. 全悪性新生物（癌、肉腫、悪性腫瘍、白血病、リンパ腫、上皮内がんなども含む）または頭蓋内の新生物（良性・悪性、性状不詳に関わらず）
3. 上記確定診断された症例で、疑い症例は除く

◆届出票にご記入、提出していただくタイミング

1. 自施設もしくは他施設で当該新生物の診断後、自施設で初回治療を開始した症例の場合。

外来症例： ①外来の初回治療が終了した時点

②検査・治療のために他院に紹介した時点

入院症例： 新発生の新生物に対する一連の初回治療が終了した時点

2. 他施設で当該新生物の初回治療を開始した後、自施設で初回治療の継続を行う場合。
3. 他施設で初回治療が完了した後、自施設で当該新生物に関わる診療をした場合（再発を含む）。
4. 多重がんの場合は、それぞれのがん（原発部位）ごとに届出票を作成し提出ください。

※症例1名1件ではなく、1新生物（がん）ごとに1件として集計します。

◆ご記入いただくにあたり、ご留意いただくこと。

1. 記入の際は楷書で、黒インクにてご記入ください。
2. 必須項目をはじめ、漏れなくご記入いただきますようお願いいたします。選択肢では、該当する番号に○をお付けください。「不明」の場合は、その旨ご記入をお願いします。
3. 「部位」・「病理診断」・「病巣の拡がり」などについては、参考資料をご参照ください。

「届出票記載・届出方法」に関するお問い合わせ先

福岡県保健環境研究所 企画情報管理課 地域がん登録担当

電話 092-921-9941 （平日8時30分～17時15分）

FAX 092-928-1203 （届出票のFAX受付は行いません）

「地域がん登録」に関するお問い合わせ先

福岡県保健医療介護部 健康増進課 保健事業係

電話 092-643-3270 （平日8時30分～17時15分）

FAX 092-643-3271

各項目の記載要領

医療機関	自施設名称。正式名称記入が望ましい（ゴム印でも可）。照会先所属、届出者は問い合わせに使用。
貴院患者ID	貴院で患者固有に与えられている番号・記号。患者情報照会時に使用します。
姓・名 （漢字）	姓と名を別々に漢字表記で記入。重複登録を防ぐ大事な項目のため、イニシャル、カタカナ等の略記は避け、 本名を記入 。なお、漢字表記できない外国名の場合はカタカナ表記とします。
性別	性別について、該当する番号を○で囲んでください。 手術や薬物などで性転換している場合は「3 他」を○で囲んでください。
生年月日	生年月日を記入。西暦・和暦（元号） どちらでも記入可です 。該当する番号を○で囲んでください。
診断時住所	診断時に居住していた住所。市町村のみならず、マンション・部屋番号までのできるだけ詳細な住所を記入。 受診のため仮にまたは一時的に滞在している場合は、本来の住所を記入ください。

診断名

側性：左右	原発部位が両側臓器（肺・乳房等側性のある臓器）の場合のみ該当する番号を○で囲んでください。「両側」は卵巣・腎芽腫（ウィルムス腫瘍）・網膜芽腫に用い、同時に左右に腫瘍が認められた場合のみに選択可能。その他の側性を有する臓器において、一方が他方の転移と判断されない腫瘍が左右に存在するとき、左右それぞれを独立した腫瘍として別々の届出票に記入ください。一方が他方の転移で、 原発側が判断されない場合は「不明」とします。
部位	腫瘍の原発部位を、 できるだけ詳細な情報を含んだ言葉で記入 。固形腫瘍では、原発臓器名とその詳細部位（例：「肺左上葉」、「結腸脾彎曲部」等）を記入ください。 転移性がんの場合は、原発臓器 （例：食道がんの肺転移の場合は、転移部位の「肺」ではなく、「食道」）を記入し、 原発が不明な場合は「原発不明」とします。 白血病の場合、診断部位は「骨髓」とし、病理診断名に「急性骨髓性白血病 M2」等と記入。 悪性リンパ腫の場合、診断部位は主病変の部位とし （例：胃の悪性リンパ腫の場合は、「胃」を記入）、詳細な診断名は病理診断名に「びまん性大細胞性B細胞型リンパ腫」のように記入。がん登録では、「国際疾病分類－腫瘍学（ICD-0）」を用いるのが世界基準であり（2009年現在第3版）、登録室では原発部位情報を ICD-0-T（Topography：局在部位）に基づいてコーディングしています。
病理診断名	腫瘍の病理組織を、 できるだけ詳細な情報を含んだ言葉で記入ください 。病理報告に記入されている組織型を完全に記入するなど、腫瘍の形状、腫瘍の性状（良性、良悪不詳、上皮内、悪性、等）及び分化度（高・中・低・未分化）/リンパ性造血器腫瘍の場合の表面抗原（T-cell、B-cell、Null-cell）等を全て含む事が望ましい。登録室では病理診断名を ICD-0-M（Morphology：形態）を用いて6桁の数字でコーディングしています。 ・生検と術後病理診断が異なる場合は、術後病理診断を優先して記入ください。 ・他施設で病理診断（組織診・細胞診）が実施された場合、わかる範囲で記入ください。

診断情報

初発・治療開始後	初発、治療開始後・再発を区別するための項目です、該当する番号を○で囲んでください。 1.初発：自施設において、当該腫瘍の診断、診断と初回治療、あるいは初回治療を実施した場合。 2.治療開始後・再発：他施設にて当該腫瘍の初回治療を開始した後、自施設にて患者を診療した場合。自施設・他施設を問わずに初回治療が完了した後、自施設にて患者を診療した場合（再発を含みます）。
----------	--

診断根拠	当該腫瘍が悪性腫瘍であること、その原発部位ならびに病理組織の確定に際し、患者の全経過を通じて最も寄与した情報（初回治療前の診断に限定しない。他施設における診断情報も含む）。該当する検査番号の一番小さい方（番号）を優先して○で囲んでください。複数回答可。 1. 原発巣の組織診：原発巣からの病理組織診断によるがんの診断、白血病の骨髓穿刺を含む。 2. 転移巣の組織診：転移巣からの病理組織診断によるがんの診断。 3. 細胞診：喀痰、尿沈渣、膣分泌物等による剥離細胞診、ファイバースコープ等による擦過、吸引細胞診、あるいは洗浄細胞診を含む。白血病及び悪性リンパ腫の一般血液検査も、この項を含む。 4. 部位特異的な腫瘍マーカー：PSA、AFP、HCG、HVA、VMA、血清・尿中免疫グロブリン高値など。 5. 臨床検査：画像診断（特殊撮影、造影全。MRI、RI 検査、PET、超音波検査を含む。）、組織診・細胞診を伴わない手術・体腔鏡下の肉眼的診断、試験開腹・開胸・解剖を含む。 6. 臨床診断：上記検査・診断を伴わない視触診。
------	--

自施設診断日	自施設において当該腫瘍の初回診断がなされた場合の届出では、初回治療前に自施設で実施した検査のうち、診断根拠の番号の最も小さい検査の検体採取日や検査日を記入（①組織診検体採取日 > ②細胞診検体採取日 > ③腫瘍マーカー検体採取日 > ④画像診断検査日の順で優先）。 診断根拠 1-3 を選択の場合＝検体採取日、診断根拠 4-5 ＝検査日 前医・他施設において当該腫瘍の初回診断がなされた場合の届出では、自施設の当該腫瘍初診日を記入。生前に存在が疑われていなかったがんが病理解剖によりはじめて診断された場合は、死亡日を自施設診断日とします。西暦もしくは和暦（元号）、どちらでも記入可。年月日まで記入ください。
--------	--

初回診断日	前医・他施設において、または再発・治療後など、すでに当該腫瘍の診断がなされていた場合の届出では、前医・他施設においてまたは初発時の当該腫瘍の初回治療前に”がん”と診断する根拠となった検査を行った日をわかる範囲で必ず記入。西暦もしくは和暦（元号）、どちらでも記入可。できる限り年月日まで記入。詳細が不明な場合でも、分かる範囲で記入（例：4 月上旬、4 月頃、春頃、2009 年頃等）。検査日等が不明の場合は、「腫瘍の為の入院日」「外来のみでは腫瘍のための初診日」などを診断日として記入ください。
-------	---

発見経緯	当該腫瘍が診断される発端となった状況を把握するための項目です、番号を○で囲んでください。 1. がん検診：がんの早期発見・早期治療を目的とし、一連の定型的な検査を行う場合。 2. 健診・人間ドック：健診は健康一般に関する審査（健康尺度の測定）を目的とし、一連の検査を行う場合で、人間ドックは個人を対象にして行う、より詳細な健康一般に関する診査。 3. 他疾患の経過観察中：入院時ルーチン検査を含む。 4. 剖検：剖検によってはじめて腫瘍の存在が発見された場合。 *自覚症状を持ちながらがん検診を受けがんと診断された場合は「がん検診」とします。
------	--

病 期

病巣の拡がり	病巣の拡がりとは、腫瘍の原発部位での拡がりの程度と、所属リンパ節・遠隔臓器への転移の有無に基づき、大まかに分類する方法です。術後病理学的診断による進展度が判明していればそれを優先し、無ければ治療前の進行度を用います。ただし、腫瘍の縮小を目的とした化学療法や放射線療法、あるいは免疫・内分泌療法等を施行の後、手術（体腔鏡的・内視鏡的手術を含む）を施行した場合は、治療前の進展度を優先します。再発では記載不要です。 0. 上皮内：がんが原発臓器に局限しており、かつ上皮内にとどまるもの。 1. 局限：がんが原発臓器に局限しているもの。 2. 所属リンパ節転移：所属リンパ節への転移を伴うが、隣接組織、臓器への浸潤がないもの。 3. 隣接臓器浸潤：隣接組織、臓器に直接浸潤しているが、遠隔転移がないもの。 4. 遠隔転移：遠隔転移があるもの。
--------	--

UICC TNM	地域がん登録では、病巣の拡がりを集計しています。病巣の拡がりに記入がなければ TNM 分類やその他欄の情報から地域がん登録室の方でコード化します（よって初発の場合は、病巣の拡がりが UICCTNM のどちらかは必ず記入してください）。 UICC (国際対がん連合) TNM：がん登録では病期分類として「UICC TNM 悪性腫瘍の分類」を使用。
----------	--

その他	深達度、腫瘍径など病巣の拡がりの判定に役立つ情報があれば記入ください。
-----	---

初回治療 ・当該腫瘍における一連の初回治療のうち自施設で実施したものを記入、再発では記載不要です。

観血的治療

手術 自施設での初回治療における外科的治療の有無について、該当する番号を○で囲んでください。
(例:【包含】子宮頸がんの円錐切除術 【除外】前立腺がんの去勢術→内分泌療法)

体腔鏡的 自施設での初回治療における体腔鏡的治療の有無について、該当する番号を○で囲んでください。

内視鏡的 自施設での初回治療における内視鏡的治療の有無について、該当する番号を○で囲んでください。

観血的治療
を総合した
治療結果 当該のがんに対する手術・体腔鏡的・内視鏡的治療を実施した場合のみ根治度を記入。初回治療として行った総合的な結果に該当する番号を○で囲んでください。
内視鏡的な治療を最初に行ったが、その後外科的な追加切除を必要とした場合は、外科的切除の根治度を記入。根治度の記入は、組織学的に判断された根治度を用いるのが好ましく、組織的根治度が得られない場合は肉眼的根治度を用います。
※治癒切除、非治癒切除の定義:領域(所属リンパ節、隣接臓器)までの切除は以下のように定義。
1.治癒切除 : 腫瘍を完全に摘除した場合(相対、絶対切除を含む)。
2.非治癒切除:腫瘍の切除が不完全であった場合(切除しきれなかった場合)。

その他の治療

放射線 自施設での初回治療における放射線治療の有無について、該当する番号を○で囲んでください。
術前照射も含みます。

化学療法 自施設での初回治療における化学療法の有無について、該当する番号を○で囲んでください。
化学療法については、定義が曖昧な部分がありますが、免疫療法・BRM や内分泌療法を含まないことに留意してください。(例:【包含】ハーセプチンによる乳がん治療、肝臓のTAI)

免疫療法 自施設での初回治療における免疫療法・BRM 療法の有無について、該当する番号を○で囲んでください。
BRM(biological response modifier:生体応答調整物質)については、「腫瘍細胞に対する宿主の生物学的応答を修飾することによって、治療効果をもたらす物質または方法」いわゆる非特異的な免疫賦活療法を指すものとします。腫瘍に対する自己免疫強化のためのBCG投与なども含みます。

内分泌療法 自施設での初回治療における内分泌療法の有無について、該当する番号を○で囲んでください。
内分泌療法とは、がん組織に対し、ホルモンバランスを替えることにより何らかの効果を求めた治療である。ホルモン投与、ホルモン代謝を拮抗する薬剤、抗ホルモン剤、エストロゲン依存性腫瘍に対する卵巣摘出術等がそれにあたります。(例:【包含】前立腺がんの去勢術)

その他 自施設での初回治療における上記(手術～内分泌療法)以外の治療の有無について、該当する番号を○で囲んでください。
また「1.有」の場合は実施した治療法について()内に記入ください。
・TAE(肝動脈塞栓術)、PEIT(経皮的エタノール注入療法)、温熱療法、レーザー等治療(焼灼)、MCT/MCNT、骨髄移植等、およびその他特異的な治療を含みます。

死亡年月日 死亡日が判明している場合、記入。西暦もしくは和暦(元号)、どちらでも記入可です。

〈参考資料〉

1. 「部位」の記載例

部位名については、下記の記載例を参考にご記入ください（部位例については疾病分類より的一部抜粋です）。登録室において『国際疾病分類-腫瘍学- 第3版』により、部位（局在）のコード化を行います。

C00-C14 口唇、口腔および咽頭

C00：口唇（口唇の皮膚 C44.0 を除く）

外側上唇、外側下唇、外側口唇、上唇粘膜、下唇粘膜、口唇粘膜、唇交連、口唇の境界部病巣、口唇, NOS

C01：舌根部

舌根部, NOS、舌根部の背面、舌の後3分の1下面、舌後部, NOS、舌根

C02：その他及び部位不明の舌

舌背面, NOS、舌縁、舌尖、舌下面, NOS、舌の前3分の2, NOS、舌前部, NOS、舌扁桃、舌の境界部病巣、舌, NOS

C03：歯肉

上顎歯肉、上顎歯槽粘膜、下顎歯肉、下顎歯槽粘膜、歯槽粘膜、歯ざん, NOS、歯肉, NOS、歯周組織

C04：口腔底

前部口腔底、側部口腔底、口腔底の境界部病巣、口腔底, NOS

C05：口蓋

硬口蓋、軟口蓋、口蓋垂、口蓋の境界部病巣、口蓋, NOS

C06：その他及び部位不明の口腔

頬粘膜、口腔前庭、歯槽溝、頬側溝、臼後部、臼後三角、口腔の境界部病巣、口腔, NOS、頬粘膜腔、小唾液腺

C07：耳下腺

耳下腺, NOS、ステンセン管、耳下腺管

C08：その他および詳細不明の大唾液腺

顎下腺、ワルトン管、顎下腺管、舌下腺（管）、大唾液腺の境界部病巣、大唾液腺, NOS

C09：扁桃

扁桃窩、扁桃口蓋弓、口峽弓、舌口蓋ひだ、扁桃の境界部病巣、扁桃, NOS、口峽扁桃、口蓋扁桃

C10：中咽頭

喉頭蓋谷、喉頭蓋の前面、中咽頭側壁、中咽頭後壁、鰓裂、中咽頭の境界部病巣、中咽頭の接合部 口峽, NOS、

C11：鼻〈上〉咽頭〔NPC〕

鼻咽頭上壁、鼻咽頭後壁、アデノイド、鼻咽頭側壁、咽頭円蓋、鼻咽頭前壁、鼻咽頭の境界部病巣、鼻咽頭, NOS

C12：梨状陥凹

梨状陥凹〈洞〉〔PCS〕、梨状窩、

C13：下咽頭

後輪状軟骨部、輪状咽頭、披裂喉頭蓋ひだ, NOS、下咽頭後壁、下咽頭の境界部病巣、下咽頭壁、咽頭喉頭部、

C14：その他及び部位不明確の口唇、口腔及び咽頭

咽頭, NOS、咽頭（側・後）壁, NOS、咽頭後部、ワルダイヤ-輪、口唇、口腔及び咽頭の境界部病巣

C15-C26 消化器

C15：食道

頸部食道、胸部食道、胸部上部食道、胸部中部食道、胸部下部食道、腹部食道、食道の境界部病巣、食道, NOS

C16：胃

噴門, NOS、食道胃接合部、胃底部、胃体部、胃前庭部、幽門前庭、幽門、胃角(部)、胃小弯, NOS、胃大弯, NOS、胃の境界部病巣、前壁, NOS、後壁, NOS、胃, NOS

C17：小腸

十二指腸、空腸、回腸、メッケル憩室、小腸の境界部病巣、小腸, NOS

C18：結腸

盲腸、虫垂、上行結腸、右結腸曲、横行結腸、左結腸曲、下行結腸、S状結腸、骨盤部結腸、結腸の境界部病巣、結腸, NOS、大腸(直腸, NOS C20.9 及び直腸S状結腸移行部 C19.9 を除く)

C19：直腸S状結腸移行部

直腸S状結腸, NOS、結腸及び直腸、骨盤直腸移行部

C20：直腸

直腸, NOS、直腸膨大部

C21：肛門及び肛門管

肛門, NOS(肛門皮膚及び肛門周囲皮膚 C44.5 を除く)、肛門管、総排泄腔由来部、直腸、肛門及び肛門管の境界部病巣

C22：肝及び肝内胆管

肝, NOS、肝内胆管、胆小管、細胆管

C23：胆のう

胆のう

C24：その他及び部位不明の胆道

胆外胆管、胆管, NOS、総胆管、胆のう管、肝管、オディ括約筋、ファーター乳頭膨大部、胆道の境界部病巣、胆道, NOS

C25：膵

膵頭部、膵体部、膵尾部、膵管、サントリニ管、ウィルズング管、ランゲルハンス島、内分泌膵、膵頸部、膵の境界部病巣、膵, NOS

C26：その他及び部位不明確の消化器(消化器系の新生物で、その発生部位が C15-C26.0 の何れの項目にも分類されないもの)

腸管, NOS、消化器系の境界部病巣、胃腸管, NOS、消化管, NOS、消化器, NOS

C30-C39 呼吸器系及び胸腔内臓器

C30：鼻腔及び中耳

鼻腔、鼻軟骨、鼻粘膜、鼻中隔、鼻前庭、中耳、内耳、耳管、乳突洞、鼓室

C31：副鼻腔

上顎洞、篩骨洞、前頭洞、蝶形骨洞、副鼻腔の境界部病巣、副鼻腔, NOS

C32：喉頭

声門、内喉頭、声帯, NOS、喉頭交連、喉頭蓋, NOS、披裂喉頭蓋ひだの喉頭面、声門下部、喉頭軟骨、披裂軟骨、輪状軟骨、甲状軟骨、喉頭の境界部病巣、喉頭, NOS

C33：気管

気管

C34：気管支及び肺

主気管支、肺門部、肺小舌、上葉・中葉・下葉、肺（気管支）、肺の境界部病巣、肺、NOS、細気管支、気管支、NOS

C37：胸腺

胸腺

C38：心臓、縦隔及び胸膜

心内膜、心筋、心室、前縦隔、後縦隔、縦隔、NOS、胸膜、NOS、壁側胸膜、臓側胸膜、心臓、縦隔、胸膜の境界部病巣

C39：その他及び部位不明確の呼吸器系及び胸腔内臓器

上気道、NOS、呼吸器系及び胸腔内臓器の境界部病巣、部位不明確の呼吸器系、気道、NOS

C40-C41 骨、関節及び関節軟骨

C40：肢の骨、関節及び関節軟骨

上肢の長骨、肩甲骨及びその関節（肩鎖関節、肘関節、上腕骨、橈骨、肩甲骨、肩関節、尺骨）
上肢の短骨及びその関節（指骨、手根骨、中手骨、手の指節骨、手関節）
下肢の長骨及びその関節（脚の骨、大腿骨、脛骨、腓骨、半月、膝関節、）
下肢の短骨（膝蓋骨、足関節、足根骨、趾骨、踵骨、足の骨）
四肢の骨、関節及び関節軟骨の境界部病巣、四肢の軟骨、NOS、四肢の関節、NOS、四肢の関節軟骨、NOS

C41：その他及び部位不明の骨、関節及び関節軟骨

頭蓋骨、顔面骨及びその関節（頭蓋冠、篩骨、舌骨、上顎骨、鼻骨、眼窩の骨、頭頂骨、頬骨）
下顎（下顎骨、顎関節、顎骨、NOS）
脊柱（環椎、背骨、椎間板、脊柱、背椎、椎骨）
肋骨、胸骨、鎖骨及びその関節（肋軟骨、肋椎軟骨、胸肋関節）
骨盤骨、仙尾骨及びその関節（寛骨臼、股関節部の骨、腸骨、骨盤骨、仙骨、尾骨、恥骨、坐骨、恥骨結合）
骨、関節及び関節軟骨の境界部病巣、骨、NOS、軟骨、NOS、関節、NOS、関節軟骨、NOS

C42：造血系及び細網内皮系

血液、骨髓、脾、細網内皮系、NOS、造血系、NOS

★白血病の場合は、
部位は「骨髓」と
記載。

C44：皮膚（外陰部の皮膚 C51.1、陰茎の皮膚 C60.9、陰のうの皮膚 C63.2を除く）

口唇の皮膚、眼瞼、マイボーム腺、上眼角、耳介、外耳道、耳輪、耳の皮膚、NOS
その他及び部位不明の顔面の皮膚（頬部、顔面、鼻翼、おとがい、NOS、眉毛、前頭部、NOS、側頭部、NOS）
頭皮及び頸の皮膚（頭皮、頸部の皮膚、鎖骨上部の皮膚）
体幹の皮膚（腹部、腹壁、肛門、腋窩、背部、乳房、臀部、胸壁、体幹、会陰部、臍、鎖骨上部、仙尾骨部、肛門周囲皮膚）
上肢及び肩の皮膚（腕、肘、指、手掌、肩、上肢、手首、指爪）
下肢及び股関節部の皮膚（足首、股関節部、膝、脚、踵、大腿、足底、趾爪）
皮膚の境界部病巣、皮膚、NOS

C47：末梢神経及び自律神経系（自律神経系、神経節、神経、副交感神経系、末梢神経、脊髄神経、交感神経系を含む）

頭部、顔面及び頸部の末梢神経及び自律神経系（頬部、顔面、頸部、頭部、翼突窩、鎖骨上部、頸神経そう）
上肢及び肩の末梢神経及び自律神経系（腕、肘、手、肩、手首、上腕神経、腕神経そう、正中神経、橈骨神経、尺骨神経）
下肢及び股関節部の末梢神経及び自律神経系（足首、股関節部、膝、大腿、趾、大腿神経、閉鎖神経、坐骨神経）
胸部郭の末梢神経及び自律神経系（腋窩、胸部、胸壁、鎖骨上部、肩甲部、肋間神経）
腹部の末梢神経及び自律神経系（腹壁、臍）
骨盤の末梢神経及び自律神経系（臀部、そけい部、会陰部、腰仙骨神経そう、仙骨神経）
体幹の末梢神経及び自律神経系（背部、側腹部、体幹、腰神経）
自律神経系、NOS（神経節、NOS、副交感神経系、NOS、末梢神経、NOS、交感神経系、NOS、脊髄神経、NOS）

C48：後腹膜及び腹膜

後腹膜（副腎周囲組織、腎周囲組織、脾周囲組織、盲腸後組織、後腹膜組織）、
腹膜（腸間膜、虫垂間膜、結腸間膜、大網、骨盤腹膜、直腸子宮窩、ダグラス窩）、
腹膜腔、後腹膜及び腹膜の境界部病巣

C49：結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織（脂肪組織、腱膜、動脈、血管、滑液のう、結合組織、筋膜、線維組織、 靭帯、リンパ管、筋、骨格筋、皮下組織、滑膜、腱、腱鞘、静脈、脈管を含む）

頭部、顔面及び頸部の結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織（頬部、前頭部、頸部、頭皮、翼突窩、耳の軟骨、
頸動脈、胸鎖乳突筋）
上肢及び肩の結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織（腕、肘、指、肩、上腕二頭筋、三角筋、手掌腱膜、尺骨動脈）
下肢及び股関節部の結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織（足首、踵、股関節部、膝、脚、大腿動脈、腓腹筋）
胸郭の結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織（胸腺 C37.9、心臓及び縦隔 C38. _を除く）（胸部、胸壁、肩甲部、
大動脈、NOS、横隔膜、肋間筋、大胸筋、鎖骨下動脈、胸管、僧帽筋）
腹部の結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織（腹部大動脈、腹壁筋、腹腔動脈、腰筋、腹直筋、腎動脈、大静脈）
骨盤の結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織（臀部、そけい部、会陰部、仙尾骨部、大臀筋、腸骨動脈、腸骨静脈）
体幹の結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織（背部、側腹部、体幹）
結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織、NOS（脂肪組織、NOS、腱膜、NOS、結合組織、NOS、リンパ管、NOS、筋、NOS
骨格筋、NOS、皮下組織、NOS、滑膜、NOS、静脈、NOS、脈管、NOS）

C50：乳房（乳房の皮膚 C44.5 を除く）

乳頭、乳房中央部（E）、乳房上内側4分の1（A）、乳房下内側4分の1（B）、乳房上外側4分の1（C）、乳房下外側
4分の1（D）、乳腺腋窩尾部、乳房の境界部病巣（内側乳房、下部乳房、乳房正中線部、外側乳房、上部乳房）、乳腺

C51—C58 女性性器

C51：外陰

大陰唇、NOS、大陰唇の皮膚、バルトリン腺、小陰唇、陰核、女性外性器、陰唇小帯、恥丘、外陰部、外陰の皮膚

C52：陰

陰、陰門蓋、ガルトネル管、処女膜

C53：子宮頸

子宮頸内膜、子宮頸管、ナボット腺、子宮頸外部、子宮口、子宮頸断端、子宮頸の扁平円柱上皮接合部、子宮頸

C54：子宮体部

子宮峡部、子宮内膜、子宮内膜腺、子宮筋層、子宮底、子宮体部の境界部病巣、子宮体部、

C55：子宮、NOS

子宮、NOS

C56：卵巣

卵巣

C57：その他及び部位不明の女性性器

卵管、子宮広間膜、卵巣間膜、傍卵巣部、子宮円索、子宮傍組織、子宮靭帯、子宮付属器、フォルフ体、
フォルフ管、女性性器の境界部病巣、卵管-卵巣、子宮-卵巣、女性尿路性器、NOS、尿道腔中隔、膀胱腔中隔

C58：胎盤

胎盤、卵膜

C60－C63 男性性器

C60：陰茎

包皮、亀頭、陰茎体部、海綿体、陰茎の境界部病巣、陰茎, NOS、陰茎の皮膚

C61：前立腺

前立腺, NOS

C62：精巣

停留精巣、潜在精巣、異所性精巣、下降精巣、陰のう精巣、精巣, NOS

C63：その他及び部位不明の男性性器

精巣上体、精索、精管、陰のう, NOS、陰のうの皮膚、精のう、精巣鞘膜、男性性器の境界部病巣、男性尿路性器, NOS

C64－C68 尿路

C64：腎

腎, NOS、腎実質、

C65：腎盂

腎盂、腎杯、腎盂尿管接合部

C66：尿管

尿管

C67：膀胱

膀胱三角、膀胱円蓋、膀胱側壁、膀胱前壁、膀胱後壁、膀胱頸部、内尿道口、尿管口、尿管管、膀胱壁、膀胱, NOS

C68：その他及び部位不明の泌尿器

尿道、カウパー腺、前立腺小室、尿道腺、尿道傍腺、泌尿器の境界部病巣、尿路系, NOS

C69－C72 眼、脳及びその他の中枢神経系

C69：眼及び付属器

結膜、角膜、網膜、脈絡膜、毛様体、水晶体、涙腺、涙管、眼窩（自律神経系, 自律神経結合組織, 末梢神経, 軟部組織）、外眼筋、眼球後部組織、眼及び付属器の境界部病巣、眼, NOS

C70：髄膜

脳髄膜、頭蓋硬膜、頭蓋軟膜、小脳鎌、大脳鎌、小脳テント、脊髓膜、脊髓くも膜、脊髓硬膜、髄膜、くも膜、

C71：脳

大脳、脳梁、大脳皮質、視床下部、前頭葉、側頭葉、海馬、頭頂葉、後頭葉、脳室、脈絡そう、小脳、脳幹、延髄、中脳、脳の境界部病巣、頭蓋内の部位、頭蓋窩, NOS、前・中・後頭蓋窩、鞍上部

C72：脊髓、脳神経及びその他の中枢神経系

脊髓、頸髄、胸髄、馬尾、嗅神経、視神経、視交叉、聴神経、脳神経、外転神経、顔面神経、三叉神経、迷走神経、滑車神経、脳及び中枢神経系の境界部病巣、中枢神経系、硬膜外、傍トルコ鞍部

C73－C75 甲状腺及びその他の内分泌腺

C73：甲状腺

甲状腺, NOS、甲状舌管

C74：副腎

副腎皮質、副腎髓質、副腎, NOS

C75：その他の内分泌腺及び関連組織

上皮小体、下垂体、ラトケのう、トルコ鞍、頭蓋咽頭管、松果体、頸動脈小体、大動脈小体、パラガングリオン、傍大動脈体、多内分泌腺、多腺性、内分泌腺, NOS

C76：その他及び不明確な部位

頭部, 顔面又は頸部, NOS (頬, NOS、顎, NOS、鼻, NOS、頸部, NOS、鎖骨上部, NOS)

胸郭, NOS (胸部, NOS、胸壁, NOS、胸腔内, NOS、鎖骨下部, NOS、肩甲部, NOS)

腹部, NOS (腹壁, NOS、腹腔内, NOS、)

骨盤, NOS (臀部, NOS、そけい部, NOS、会陰部, NOS、直腸膀胱中隔、坐骨直腸窩、直腸周囲, NOS、仙尾骨部, NOS)

上肢, NOS (腕, NOS、肩, NOS、肘, NOS、手, NOS、指, NOS)

下肢, NOS (足首, NOS、踵, NOS、股関節部, NOS、脚, NOS、大腿, NOS)

その他の不明確な部位 (背部, NOS、体幹, NOS、側腹部, NOS)

C77：リンパ節

頭部, 顔面及び頸部のリンパ節 (耳リンパ節、頸部リンパ節、下顎リンパ節、気管前リンパ節、鎖骨上リンパ節)

胸腔内リンパ節 (気管支リンパ節、横隔膜リンパ節、食道リンパ節、肺門リンパ節、肋間リンパ節、縦隔リンパ節)

腹腔内リンパ節 (大動脈リンパ節、結腸リンパ節、胃リンパ節、大動脈周囲リンパ節、脾周囲リンパ節、脾門リンパ節)

腋窩又は腕のリンパ節 (腋窩リンパ節、上腕リンパ節、滑車上リンパ節、鎖骨下リンパ節、胸筋リンパ節、肩甲下リンパ節)

下肢又はそけい部のリンパ節 (大腿リンパ節、そけいリンパ節、ワケーリンパ節、下肢のリンパ節、膝窩リンパ節、脛骨リンパ節)

骨盤リンパ節 (下腹リンパ節、腸骨リンパ節、骨盤内リンパ節、閉鎖リンパ節、傍子宮頸リンパ節、仙骨リンパ節)

多部位のリンパ節、リンパ節

C80 原発部位不明

原発部位不明

2. 「病理診断名」の記載例

病理診断名については、下記の記載例を参考にご記入ください。臓器群で発生頻度が高い組織型について一部抜粋し掲載しています（和文名+英文名）。()内には略語を表示しています。登録室において『国際疾病分類-腫瘍学 - 第3版』により、形態のコード化を行います。

【 和文名 】

【英文名】

(略語)

C00-C14：口唇,口腔及び咽頭

上皮内癌・非浸潤性

上皮内扁平上皮癌 NOS

Squamous cell carcinoma in situ, NOS

悪性・浸潤癌

腺房細胞癌

Acinar cell carcinoma

腺癌 NOS

Adenocarcinoma, NOS

腺様嚢胞癌

Adenoid cystic carcinoma

腺扁平上皮癌

Adenosquamous carcinoma

未分化癌 NOS

Undifferentiated carcinoma, NOS

癌肉腫 NOS

Carcinosarcoma

悪性線維性組織球腫

Malignant fibrous histiocytoma (MFH)

悪性黒色腫 NOS

Malignant Melanoma, NOS

混合腫瘍,悪性 NOS

Mixed tumor, malignant, NOS

粘表皮癌

Mucoepidermoid carcinoma

扁平上皮癌 NOS

Squamous cell carcinoma, NOS (SCC)

角化型 NOS

Keratinizing, NOS

[大細胞性]非角化

[large cell],nonkeratinizing

小細胞性非角化

small cell, nonkeratinizing

紡錘形細胞[癌]

spindle cell carcinoma, NOS

移行上皮癌 NOS

Transitional cell carcinoma, NOS (TCC)

疣状癌 NOS

Verrucous carcinoma, NOS

C15：食道

上皮内癌・非浸潤性

上皮内扁平上皮癌 NOS

Squamous cell carcinoma in situ, NOS

悪性・浸潤癌

腺癌 NOS

Adenocarcinoma, NOS

腺様嚢胞癌

Adenoid cystic carcinoma

腺扁平上皮癌

Adenosquamous carcinoma

類基底細胞癌

Basaloid carcinoma

未分化癌 NOS

Undifferentiated carcinoma, NOS

小細胞癌 NOS

Small cell carcinoma, NOS

癌肉腫 NOS

Carcinosarcoma

悪性黒色腫 NOS

Malignant Melanoma, NOS

粘表皮癌

Mucoepidermoid carcinoma

扁平上皮癌 NOS

Squamous cell carcinoma, NOS

角化型 NOS

Keratinizing, NOS

[大細胞性]非角化

[large cell],nonkeratinizing

小細胞性非角化

small cell, nonkeratinizing

微小浸潤癌

microinvasive

C16：胃

上皮内癌・非浸潤性

上皮内癌

悪性・浸潤癌

腺癌 NOS

乳頭腺癌 NOS

管状腺癌

高分化型

中分化型

低分化腺癌

充実型

非充実型,硬癌

小細胞癌（神経内分泌癌）

印環細胞癌

粘液癌

腺扁平上皮癌

扁平上皮癌 NOS

カルチノイド腫瘍 NOS

未分化癌 NOS

肉腫 NOS

平滑筋肉腫 NOS

胃腸管間質腫瘍,悪性

MALT リンパ腫

Intraepithelial carcinoma

Adenocarcinoma, NOS

Papillary adenocarcinoma, NOS (pap)

Tubular adenocarcinoma (tub)

well differentiated type (tub1)

moderately differentiated type (tub2)

Poorly differentiated adenocarcinoma (por)

solid type (por1)

non-solid type (por2), scirrhus type (sci)

Small cell carcinoma, Neuroendocrine carcinoma

Signet-ring cell carcinoma (sig)

Mucinous adenocarcinoma (muc)

Adenosquamous carcinoma (asc)

Squamous cell carcinoma, NOS (SCC)

Carcinoid tumor, NOS

Undifferentiated carcinoma, NOS

Sarcoma, NOS

Leiomyosarcoma, NOS

Gastrointestinal stromal tumor (GIST), malignant

MALT lymphoma

C17：小腸

悪性・浸潤癌

腺癌 NOS

カルチノイド腫瘍 NOS

平滑筋肉腫 NOS

Adenocarcinoma, NOS

Carcinoid tumor, NOS

Leiomyosarcoma, NOS

C18-C21：結腸,直腸・肛門

上皮内癌・非浸潤性《★粘膜癌, m 癌》

上皮内腺癌 NOS

腺腫性ポリープ内上皮内腺癌

悪性・浸潤癌《sm 癌以上》

腺腫内[腺]癌

管状絨毛状腺腫内腺癌

絨毛状腺腫内腺癌

大腸腺腫性* 痔* - 肛内腺癌

腺癌 NOS

肛門腺腺癌

乳頭（状）腺癌 NOS

管状腺癌

粘液癌

印環細胞癌

扁平上皮癌 NOS

腺扁平上皮癌

未分化癌 NOS

カルチノイド腫瘍 NOS

Adenocarcinoma in situ, NOS

Adenocarcinoma in situ in adenomatous polyp

Adenocarcinoma in adenomatous polyp

[ad.]ca. in adenoma, focal(carcinoma in adenoma)

Cancer in adenoma

Adenocarcinoma in tubulovillous adenoma

Adenocarcinoma in villous adenoma

Adenocarcinoma in adenomatous polyposis coli

Adenocarcinoma, NOS

Adenocarcinoma of anal glands

Papillary adenocarcinoma (pap)

Tubular adenocarcinoma (tub)

Mucinous adenocarcinoma (muc)

Signet-ring cell carcinoma (sig)

Squamous cell carcinoma, NOS (SCC)

Adenosquamous carcinoma (asc)

Undifferentiated carcinoma, , NOS

Carcinoid tumor, NOS

粘液嚢胞腺癌 NOS（虫垂）
 類基底細胞癌（肛門管）
 悪性黒色腫 NOS（肛門管）
 平滑筋肉腫 NOS
 B 細胞性リンパ腫

Mucinous cystadenocarcinoma, NOS
 Basaloid carcinoma
 Malignant Melanoma, NOS
 Leiomyosarcoma, NOS
 B-cell lymphoma

C 2 2：肝

悪性・浸潤癌

肝細胞癌 NOS
 肝細胞癌、線維層板状
 肝細胞癌、硬性
 硬化性肝癌
 肝細胞癌、紡錘形細胞変異型
 肝細胞癌、肉腫様
 肝細胞癌、明細胞型
 肝細胞癌、多形型

Hepatocellular carcinoma(HCC), NOS
 Hepatocellular carcinoma, fibrolamellar
 Hepatocellular carcinoma, scirrhou
 Sclerosing hepatic carcinoma
 Hepatocellular carcinoma, spindle cell variant
 Hepatocellular carcinoma, sarcomatoid
 Hepatocellular carcinoma, clear cell type
 Hepatocellular carcinoma, pleomorphic type

◎Edmondson 分類

I＝高分化、II＝中分化、III＝低分化、IV＝未分化

未分化肉腫
 未分化癌 NOS
 肝細胞癌・胆管癌の混合型
 肝芽[細胞]腫
 血管肉腫
 胆管癌、胆管細胞癌
 [胆管]嚢胞腺癌

Undifferentiated sarcoma(embryonal sarcoma)
 Undifferentiated carcinoma, NOS
 Combined HCC and cholangiocarcinoma
 Hepatoblastoma
 Hemangiosarcoma
 Cholangiocarcinoma, Bile duct carcinoma, CCC
 Bile duct cystadenocarcinoma

C 2 3-C 2 4：胆のう、肝外胆管・胆道

悪性・浸潤癌

腺癌 NOS
 胆管癌、胆管細胞癌

乳頭状腺癌
 管状腺癌

高分化型
 中分化型
 低分化型

粘液癌
 高分化型
 低分化型

印環細胞癌
 腺扁平上皮癌
 扁平上皮癌 NOS
 未分化癌 NOS

Adenocarcinoma, NOS
 Cholangiocarcinoma,
 Bile duct carcinoma, CCC
 Papillary adenocarcinoma (pap)
 Tubular adenocarcinoma (tub)
 well differentiated type (tub1)
 moderately differentiated type (tub2)
 poorly differentiated type (tub3)
 Mucinous adenocarcinoma (muc)
 well differentiated type (muc-w)
 poorly differentiated type (muc-p)
 Signet-ring cell carcinoma (sig)
 Adenosquamous carcinoma (asc)
 Squamous cell carcinoma, NOS (scc)
 Undifferentiated carcinoma, NOS (ud)

C 2 5：膵

上皮内癌・非浸潤性

膵管内乳頭粘液性腺癌、非浸潤性

粘液性嚢胞腺癌、非浸潤性

Intraductal papillary-mucinous carcinoma (IPMC),
 non-invasive
 Mucinous cystadenocarcinoma,non-invasive

悪性・浸潤癌

腺癌 NOS

囊胞腺癌 NOS

膵管内乳頭粘液性腺癌、浸潤性

浸潤性膵管癌

乳頭腺癌 NOS

管状腺癌

高分化型

中分化型

低分化腺癌

腺扁平上皮癌

粘液癌

粘液性囊胞腺癌 NOS

腺房細胞癌

未分化癌 NOS

島細胞癌

Adenocarcinoma, NOS

Cystadenocarcinoma, NOS

Intraductal papillary-mucinous carcinoma (IPMC),

Invasive

Invasive ductal carcinoma (IDCs)

Papillary adenocarcinoma, NOS (pap)

Tubular adenocarcinoma(tub)

well differentiated type (tub1)

moderately differentiated type (tub2)

Poorly differentiated adenocarcinoma (por)

Adenosquamous carcinoma (asc)

Mucinous adenocarcinoma (muc)

Mucinous cystadenocarcinoma, NOS (MCC)

Acinar cell carcinoma (ACC)

Undifferentiated carcinoma, NOS

Islet cell carcinoma

C30-C31：鼻腔・中耳・副鼻腔

上皮内癌・非浸潤性

上皮内扁平上皮癌 NOS

悪性・浸潤癌

扁平上皮癌 NOS

腺癌 NOS

腺様囊胞癌

悪性黒色腫 NOS

Squamous cell carcinoma in situ, NOS

Squamous cell carcinoma, NOS

Adenocarcinoma, NOS

Adenoid cystic carcinoma

Malignant Melanoma, NOS

C32：喉頭

上皮内癌・非浸潤性

上皮内扁平上皮癌 NOS

悪性・浸潤癌

扁平上皮癌 NOS

角化型 NOS

[大細胞性]非角化

小細胞性非角化

Squamous cell carcinoma in situ, NOS

Squamous cell carcinoma, NOS

Keratinizing, NOS

[large cell,]nonkeratinizing

small cell, nonkeratinizing

C33-C34：気管、気管支・肺

上皮内癌・非浸潤性

上皮内扁平上皮癌 NOS

悪性・浸潤癌

小細胞癌 NOS

燕麦細胞癌

小細胞混合癌

非小細胞癌

扁平上皮癌 NOS

腺癌 NOS

乳頭腺癌 NOS

細気管支肺腺癌 NOS

粘液非産生性

Squamous cell carcinoma in situ, NOS

Small cell carcinoma (SmCC), NOS

Oat cell carcinoma

Combined small cell carcinoma

(larg.ad.ca., SqCC との混合)

Non-small cell carcinoma

Squamous cell carcinoma, NOS

Adenocarcinoma, NOS

Papillary adenocarcinoma, NOS

Bronchiolo-alveolar adenocarcinoma (BAC)

non-mucinous

粘液産生性
 粘液産生性・非産生性混合型
 管状腺癌
 大細胞癌 NOS
 大細胞神経内分泌癌
 カルチノイド腫瘍 NOS
 腺扁平上皮癌
 混合型腺癌

mucinous
 mixed
 Tubular adenocarcinoma
 Large cell carcinoma, NOS (LCC)
 Large cell neuroendocrine carcinoma (LCNEC)
 Carcinoid tumor, NOS
 Adenosquamous carcinoma
 Adenocarcinoma with mixed subtypes

C 3 7 : 胸腺

悪性胸腺腫 NOS
 胸腺癌 NOS

Thymoma, malignant, NOS
 Thymic carcinoma, NOS,
 Thymic cancer

C 3 8 : 心臓、縦隔及び胸膜

悪性中皮腫 NOS

Malignant Mesothelioma, NOS

C 4 0 - 4 1 : 骨、関節及び関節軟骨

線維性組織球腫、悪性
 骨肉腫 NOS
 軟骨肉腫 NOS
 ユーイング肉腫

Fibrous histiocytoma, malignant (MFH)
 Osteosarcoma, NOS
 Chondrosarcoma, NOS
 Ewing' s sarcoma

C 4 4 : 皮膚

上皮内癌・非浸潤性
 ボウエン病
 上皮内扁平上皮癌 NOS
 悪性・浸潤癌
 扁平上皮癌 NOS
 有棘細胞癌
 基底細胞癌
 パジェット病, 乳房外
 [悪性]黒色腫 NOS
 皮膚線維肉腫 NOS
 血管肉腫
 カボジ肉腫
 菌状息肉腫症
 セザリー症候群
 成人T細胞白血病・リンパ腫

Bowen' s disease
 Squamous cell carcinoma in situ, NOS

 Squamous cell carcinoma, NOS

 Basal cell carcinoma, NOS (BCC)
 Paget' s disease, extramammary
 [Malignant]melanoma, NOS
 Dermatofibrosarcoma, NOS
 Hemangiosarcoma
 Kaposi sarcoma
 Mycosis fungoides
 Sezary syndrome
 Adult T-cell leukemia/lymphoma

C 4 7 - C 4 9 : 末梢神経・自律神経、腹膜、結合組織及び軟部組織

悪性末梢神経鞘性腫瘍
 神経鞘腫、悪性
 神経芽細胞腫 NOS
 腹膜原発性漿液性乳頭癌
 平滑筋肉腫 NOS

Malignant peripheral nerve sheath tumor (MPNST)
 Neurilemmoma, malignant
 Neuroblastoma, NOS
 Primary serous papillary carcinoma of peritoneum
 Leiomyosarcoma, NOS

中皮腫 NOS
肉腫 NOS
線維肉腫 NOS
線維性組織球腫、悪性
脂肪肉腫 NOS
平滑筋肉腫 NOS
横紋筋肉腫 NOS
滑膜肉腫 NOS
粘液線維肉腫
血管肉腫
カボジ肉腫
骨外性ユーイング肉腫

Mesothelioma, NOS
Sarcoma, NOS
Fibrosarcoma, NOS
Fibrous histiocytoma, malignant (MFH)
Liposarcoma, NOS
Leiomyosarcoma, NOS
Rhabdomyosarcoma, NOS
Synovial sarcoma, NOS
Myxofibrosarcoma
Hemangiosarcoma (angiosarcoma)
Kaposi sarcoma
Extraskeletal Ewing's sarcoma

C50：乳房

上皮内癌・非浸潤性

非浸潤癌 NOS
非浸潤性乳管癌 NOS
DCIS, NOS
非浸潤性導管内乳頭状腺癌
導管内小乳頭状癌
導管上皮内癌、充実型
非浸潤性小葉癌 NOS
パジェット病, 乳房, 上皮内

Noninvasive carcinoma, NOS
Noninvasive ductal carcinoma, NOS
Intraductal carcinoma, NOS
Noninfiltrating intraductal papillary ad.ca.
Intraductal micropapillary ca.
Ductal carcinoma in situ, solid type
Lobular carcinoma in situ, NOS
Paget's disease, mammary, in situ

悪性・浸潤癌

浸潤癌 NOS
浸潤性乳管癌

乳頭腺管癌
充実腺管癌
硬癌
他の型の癌を伴う浸潤性導管癌
他の型の癌を伴う浸潤性小葉癌
粘液癌
髄様癌 NOS
浸潤性小葉癌
管状癌
comedo癌 NOS
パジェット病, 乳房
葉状腫瘍、悪性
アポクリン癌
紡錘細胞癌

Invasive carcinoma, NOS
Invasive ductal carcinoma
Infiltrating duct carcinoma
Papillotubular type
Solid-tubular type
scirrhous type
Infiltrating duct mixed with other types of carcinoma
Infiltrating lobular mixed with other types of carcinoma
Mucinous carcinoma
Medullary carcinoma, NOS
Invasive lobular carcinoma
Tubular carcinoma
Comedocarcinoma, NOS
Paget's disease, mammary
Phyllodes tumor, malignant
Apocrine carcinoma
Spindle cell carcinoma

C51－C52：外陰、膣

上皮内癌・非浸潤性

上皮内扁平上皮癌 NOS

悪性・浸潤癌

扁平上皮癌 NOS
角化型 NOS
パジェット病, 乳房外
悪性黒色腫 NOS

Squamous cell carcinoma in situ, NOS

Squamous cell carcinoma, NOS
Keratinizing, NOS
Paget's disease, extramammary
Malignant melanoma, NOS

C 5 3 : 子宮頸 (部)

上皮内癌・非浸潤性

上皮内癌 NOS

上皮内扁平上皮癌 NOS

扁平上皮内腫瘍、Ⅲ度

悪性・浸潤癌

[扁平上皮]癌、微小浸潤性

扁平上皮癌 NOS

角化型 NOS

[大細胞性]非角化

小細胞性非角化

腺癌 NOS

腺癌、内頸部型

粘液性腺癌

粘液性腺癌、内頸部型

類内膜腺癌

明細胞腺癌

漿液性腺癌

腺扁平上皮癌

Carcinoma in situ, NOS

Squamous cell carcinoma in situ, NOS

Squamous intraepithelial neoplasia gradeⅢ (CINⅢ)

[Squamous cell]carcinoma, microinvasive

Squamous cell carcinoma, NOS

Keratinizing, NOS

[large cell,]nonkeratinizing

small cell, nonkeratinizing

Adenocarcinoma, NOS

Adenocarcinoma, endocervical type

Mucinous adenocarcinoma

Mucinous adenocarcinoma, endocervical type

Endometrioid adenocarcinoma

Clear cell adenocarcinoma

Serous adenocarcinoma

Adenosquamous carcinoma

C 5 4 : 子宮体

上皮内癌・非浸潤性

上皮内腺癌 NOS

悪性・浸潤癌

類内膜癌 NOS

扁平上皮への分化を伴う類内膜腺癌

腺扁平上皮癌

肉腫 NOS

平滑筋肉腫 NOS

類上皮平滑筋肉腫

粘液性平滑筋肉腫

癌肉腫 NOS

子宮内膜間質肉腫

明細胞腺癌 (類中腎腺癌)

漿液性腺癌

粘液性腺癌

Adenocarcinoma in situ, NOS

Endometrioid carcinoma, NOS

Endometrioid adenocarcinoma with
squamous differentiation

Adenosquamous carcinoma

Sarcoma, NOS

Leiomyosarcoma, NOS

Epithelioid leiomyosarcoma

Myxoid leiomyosarcoma

Carcinosarcoma, NOS

Endometrial stromal sarcoma

clear cell adenocarcinoma, NOS

Serous adenocarcinoma

Mucinous adenocarcinoma

C 5 6 : 卵巣

性状不詳・境界悪性

嚢胞腺腫、境界悪性

悪性・浸潤癌

腺癌 NOS

類内膜癌

明細胞腺癌 NOS

嚢胞腺癌 NOS

漿液性[嚢胞]腺癌 NOS

乳頭状嚢胞腺癌 NOS

乳頭状漿液性[嚢胞]腺癌

粘液性嚢胞腺癌 NOS

乳頭状粘液性嚢胞腺癌

Cystadenoma, borderline malignancy

Adenocarcinoma, NOS

Endometrioid carcinoma

Clear cell adenocarcinoma, NOS

Cystadenocarcinoma, NOS

Serous [cyst] adenocarcinoma, NOS

Papillary cystadenocarcinoma, NOS

Papillary serous [cyst] adenocarcinoma

Mucinous cystadenocarcinoma, NOS

Papillary mucinous cystadenocarcinoma, NOS

粘液性腺癌
顆粒膜細胞腫瘍、悪性
内胚葉洞腫瘍
卵黄のう〈嚢〉腫瘍
奇形腫、悪性 NOS

Mucinous adenocarcinoma
Granulosa cell tumor, malignant
Endodermal sinus tumor
Yolk sac tumor
Teratoma, malignant, NOS

C58：胎盤

絨毛癌 NOS

Choriocarcinoma, NOS

C60：陰茎

扁平上皮癌 NOS

Squamous cell carcinoma, NOS

C61：前立腺

腺癌 NOS

Adenocarcinoma, NOS

◎Gleason score(2-10)= primary Gleason grade(1-5)+secondary Gleason grade(1-5)
2-4：well diff、 5-6：moderately diff、 7-10：poorly diff

C62：精巣〈睪丸〉

精上皮腫 NOS
胎児性癌 NOS
奇形腫、悪性
奇形癌
混合性胚細胞腫瘍

Seminoma, NOS
Embryonal carcinoma, NOS
Teratoma, malignant
Teratocarcinoma
Mixed germ cell tumor

C64：腎

腎細胞癌 NOS
淡明細胞癌
嫌色素細胞癌
紡錘細胞癌
腎芽〔細胞〕腫 NOS
ウィルムス腫瘍
移行上皮癌 NOS

Renal cell ca. (RCC), NOS
Clear cell carcinoma
Chromophobe cell carcinoma
Spindle cell carcinoma
Nephroblastoma, NOS
Wilm' s tumor
Transitional cell carcinoma, NOS

C65-68：腎盂、尿管、膀胱、その他及び部位不明の泌尿器

上皮内癌・非浸潤性

上皮内扁平上皮癌 NOS
上皮内移行上皮癌
上皮内尿路上皮癌
乳頭状移行上皮癌、非浸潤性

Squamous cell carcinoma in situ, NOS
Transitional cell carcinoma in situ 《Tis》
Urothelial carcinoma in situ 《Tis》
Papillary transitional cell carcinoma,
non-invasive 《Ta》
Papillary urothelial cell carcinoma, non-invasive 《Ta》

乳頭状尿路上皮癌、非浸潤性

悪性・浸潤癌

移行上皮癌 NOS
尿路上皮癌 NOS

Transitional cell carcinoma, NOS (TCC)
Urothelial carcinoma, NOS (UC)

扁平上皮癌 NOS
乳頭状移行上皮癌
乳頭状尿路上皮癌
尿管癌

Squamous cell carcinoma, NOS(SCC)
Papillary transitional cell carcinoma
Papillary urothelial carcinoma
Urachal carcinoma

C69：眼及び付属器

網膜芽細胞腫 NOS

Retinoblastoma, NOS

C70：髄膜

良性

髄膜腫 NOS

Meningioma, NOS

悪性・浸潤癌

髄膜腫、悪性

Meningioma, malignant

C71：脳

性状不詳・境界悪性

毛細胞性アストロサイトーマ

Pilocytic astrocytoma

悪性・浸潤癌

神経膠腫、悪性

Glioma, malignant

上皮腫 NOS

Ependymoma, NOS

星細胞腫 NOS

Astrocytoma, NOS

星細胞腫、退形成

Astrocytoma, anaplastic

星芽細胞腫

Astroblastoma

膠芽腫 NOS

Glioblastoma, NOS

希突起膠腫 NOS

Oligodendroglioma, NOS

髄芽腫 NOS

Medulloblastoma, NOS

原始神経外胚葉腫瘍

Primitive neuroectodermal tumor

胚細胞腫

Ganglioneuroblastoma

C72：その他脊髄・脳神経

良性

神経鞘腫〈ノイリレモーマ〉NOS

Neurilemmoma, NOS

悪性・浸潤癌

神経鞘腫〈ノイリレモーマ〉、悪性

Neurilemmoma, malignant

嗅神経芽腫

Olfactoryneuroblastoma

神経節芽腫

Ganglioneuroblastoma

C73：甲状腺

悪性・浸潤癌

腺癌 NOS

Adenocarcinoma, NOS

癌[腫]、未分化 NOS

Carcinoma, undifferentiated, NOS

甲状腺乳頭癌 NOS

Papillary carcinoma of thyroid, NOS

乳頭[状]腺癌 NOS

Papillary adenocarcinoma, NOS

濾胞[腺]癌 NOS

Follicular [ad.] carcinoma, NOS

乳頭・濾胞[腺]癌

Papillary and follicular [ad.] carcinoma

髄様癌 NOS

Medullary carcinoma, NOS

アミロイド間質を伴う髄様癌
髄様癌（C細胞癌）
髄様・濾胞混合癌

Medullary carcinoma with amyloid stroma
Medullary carcinoma, (C-cell carcinoma)
Mixed medullary and follicular cell carcinoma

C74：副腎

副腎皮質癌
神経芽細胞腫 NOS
悪性褐色細胞腫

Adrenal cortical carcinoma
Neuroblastoma, NOS
Malignant pheochromocytoma

C75：その他の内分泌腺及び関連組織

良性

下垂体腺腫 NOS
性状不詳・境界悪性

Pituitary adenoma, NOS

頭蓋咽頭腫
松果体腫

Craniopharyngioma
Pinealoma

悪性・浸潤癌

下垂体癌 NOS
胚細胞腫

Pituitary carcinoma, NOS
Germinoma

C42・C77：造血系及び細網内皮系、リンパ節

◆白血病関連

急性骨髄性白血病

Acute Myeloid (Myelocytic/myeloblastic) leukemia (AML)

・・・AML、M0、M1、M2、M3(APL)、M4、M5、M6、M7

急性リンパ性白血病

Acute Lymphoid (lymphocytic/lymphoblastic) leukemia (ALL)

・・・ALL、L1、L2、L3

慢性骨髄性白血病

Chronic Myeloid (Myelocytic/myeloblastic) Leukemia (CML)

慢性リンパ性白血病

Chronic Lymphocytic Leukemia (CLL)

◆リンパ腫関連

悪性リンパ腫

Malignant Lymphoma (ML)

びまん大細胞性B細胞リンパ腫

Diffuse Large B-cell Lymphoma (DLBCL)

ろ胞性リンパ腫

Follicular lymphoma (FL)

粘膜関連リンパ組織リンパ腫

Mucosa Associated Lymphoid Tissue Lymphoma
(MALT lymphoma)

辺縁帯B細胞性リンパ腫

Marginal Zone B-cell Lymphoma (MZL)

マントル細胞リンパ腫

Mantle Lymphoma (MCL)

（末梢性）T細胞性リンパ腫

Peripheral T-cell lymphoma (PTCL)

ホジキンリンパ腫

Hodgkin's Lymphoma (HL)

◆骨髄腫関連

多発性骨髄腫

Multiple Myeloma (MM)

形質細胞性骨髄腫

Plasma cell myeloma

形質細胞(性)白血病

Plasma cell leukemia / Plasmacytic leukemia

◆骨髄異形成症候群（MDS）関連

骨髄異形成症候群

Myelodysplastic Syndrome (MDS)

不応性貧血

Refractory anemia (RA)

鉄芽球を伴う不応性貧血

Refractory anemia with ringed-sideroblasts (RARS)

芽球増加を伴う不応性貧血

Refractory anemia with excess-blasts (RAEB)

慢性骨髄単球性白血病

Chronic myelomonocytic leukemia (CMML)

◆その他

慢性赤血病

Chronic erythremia

慢性骨髄増殖性疾患

Chronic myeloproliferative disease (CMPD)

3. 「病巣の拡がり」の記載例

－「進展度及び進行度対応表」（34部位）－

地域がん登録では全部位のがんを登録するので、臓器横断的に利用できる単純な病期分類が必要です。進展度は、SEER の Extent of Disease の考えを取り入れたもので、地域がん登録のデータを比較する時、世界的に用いるものです。 進展度＝地域がん登録独自の分類

1. 口唇及び口腔（頬粘膜、歯槽・歯肉、硬口蓋、舌、口腔底）

進展度	SEER	UICC TNM分類
上皮内がん	00	Tis
限局		T1（最大径≤2cm） T2（最大径2<<=4cm）
所属リンパ節転移	1-6	n1-3
隣接臓器浸潤		T3（最大径4cm<） T4
遠隔転移	85（転移）	M1

注）口唇及び口腔においては、SEER 3-ドットによる進展 Extension の定義が煩雑なため、TNM 分類との対応のみ示しました。TNM 分類との対応を参考に進展度を区分してください。

2. 大唾液腺（耳下腺、顎下腺、舌下腺）

進展度	SEER	UICC TNM分類
限局	10 -30	T1（最大径≤2cmで実質外進展なし） T2（最大径2<<=4cmで実質外進展なし） T3（実質外進展のないもの）※
所属リンパ節転移	1-6	n1-3
隣接臓器浸潤	40 -80	T3（実質外進展のあるもの） T4
遠隔転移	85（転移）	M1

※ T3 で実質外進展の有無に関する情報がない場合は、隣接臓器浸潤とします。

3. 中（口腔）咽頭

進展度	SEER	UICC TNM分類
上皮内	00	Tis
限局		T1（最大径≤2cm） T2（最大径2<<=4cm）
所属リンパ節転移	1-6	n1-3
隣接臓器浸潤		T3（最大径4cm<） T4
遠隔転移	85（転移）	M1

注）中（口腔）咽頭においては、SEER 3-ドットによる進展 Extension の定義が煩雑なため、TNM 分類との対応のみ示しました。TNM 分類との対応を参考に進展度を区分してください。

4. 上（鼻）咽頭

進展度	SEER	UICC TNM分類
上皮内	00	Tis
限局	10 20 30（限局性, NOS）	T1（上咽頭に限局） T2（中咽頭/鼻腔の軟部組織に進展）
所属リンパ節転移	1-6	n1-3
隣接臓器浸潤	40 -70 80	T3（骨組織/副鼻腔に浸潤） T4（頭蓋、脳神経に浸潤）
遠隔転移	85（転移）	M1

5. 下咽頭

進展度	SEER	UICC TNM分類
上皮内	00	Tis
限局	10 20 -50	T1 (以下の亜部位の1つに限定し、2cm以下：咽頭食道接合部、梨状陥凹、咽頭後壁) T2 (1亜部位を超えて又は隣接部位に浸潤、但し、半喉頭の固定を伴わない、2<<=4cm)
所属リンパ節転移	1-6	n1-3
隣接臓器浸潤	51, 55 60 -80	T3 (4cmを超えるか、半喉頭の固定を伴う) T4
遠隔転移	85 (転移)	M1

注) 咽頭食道接合部 (輪状軟骨後部)。

6. 食道

進展度	SEER	取扱い規約	UICC TNM分類
上皮内	00	Tis	Tis
限局	10-30	T1 (m, sm) T2 (mp)	T1 (m, sm) T2 (mp)
所属リンパ節転移	1	n1 n2 n3 (占拠部位により規定、TNMと異なる)	n1 頸部食道：頸部リンパ節 (鎖骨上を含む) 胸部食道：縦隔リンパ節、胃周囲リンパ節 (腹腔動脈リンパ節を含みます)
隣接臓器浸潤	40 -80	T3(ad) T4(adj)	T3 (ad 食道外膜に浸潤) T4 (adj 食道周囲臓器に浸潤)
遠隔転移	85	(n3) n4	M1 所属リンパ節以外

◎ 食道で n4 と書かれてあれば取扱い規約によるものと判ります。

付記) mp までを限局とし、ad から原則として隣接臓器浸潤としましたが、リンパ節等への転移がない外膜浸潤の僅かな場合は、比較的予後良好なことから限局に含めます。

7. 胃

進展度	SEER	取扱い規約	UICC TNM分類
限局	10-40	T1 T2	T1 (m, sm) T2 (mp, ss)
所属リンパ節転移	1-5	n1 n2 (占拠部位により規定、TNMと異なる)	n1 (1-6個の所属リンパ節転移) n2 (7-15個の所属リンパ節転移) n3 (16個以上の所属リンパ節転移)
隣接臓器浸潤	45-60 70-80	T3 T4	T3 (se) T4 (si)
遠隔転移	85 (転移)	P1 (腹膜播種性転移) CY1 (洗浄細胞診断+) H1 (肝転移) M1 (腹腔外遠隔転移) n3	M1 脾表面、腸間膜、大動脈周囲リンパ節は遠隔

【注意：がん登録での扱い】 胃癌取扱い規約での「m 癌」は、UICC TNM 分類の「T1」として扱います。

EMR や ESD などでの内視鏡的な切除治療を行った場合で、切除断端が LM, VM 共に (-) であれば pT として評価してよい。また、他施設で EMR や ESD が施行された症例に対して自施設において追加的な観血的な治療が施行された場合は、他施設での EMR や ESD の所見を合わせて総合的に pT の評価をしてよい。

付記) ss までを限局とし、ss, si から隣接臓器浸潤としました。

8. 結腸

進展度	SEER	取扱い規約	UICC TNM分類
上皮内	00 -15(未-7*, NOS)	m	Tis (m) ※
限局	16 (粘膜下組織) -40 (漿膜下組織まで)	sm mp ss a	T1 (sm) T2 (mp) T3 (ss)
所属リンパ節転移	1-3	n1-3 (n3は主リンパ節/側方リンパ節への転移)	n1 (1-3個の所属リンパ節転移) n2 (4個以上の所属リンパ節転移)
隣接臓器浸潤	45-66 70-80	se, si ai	T4 (se, si)
遠隔転移	85 (転移)	P1-3 H1-3 M1 (腹腔外)	M1 (肝十二指腸間膜内、脾裏面、大動脈周囲リンパ節は遠隔)

※ 粘膜がん (m) は、TNM に準じ (Tis に分類) 上皮内がん分類します。

付記) 胃と同様に、SS までを限局とし、se,si から隣接臓器浸潤としました。但し、粘膜がん (m) は、大腸がん取扱い規約及び TNM 分類に準じ (Tis に分類) 上皮内がん分類します。なお、漿膜を持たない部位で外膜への浸潤に留まる場合は(a)は限局とします。

9. 直腸、直腸S状結腸移行部

進展度	SEER	取扱い規約	UICC TNM分類
上皮内	00 -15(未-7*, NOS)	m	Tis (m) ※
限局	16 (粘膜下組織) -40 (漿膜下組織まで)	sm mp ss a	T1 (sm) T2 (mp) T3 (ss)
所属リンパ節転移	1-3	n1-3 (n3は主リンパ節/側方リンパ節への転移)	n1 (1-3個の所属リンパ節転移) n2 (4個以上の所属リンパ節転移)
隣接臓器浸潤	45-60 70-80	se, si ai	T4 (se, si)
遠隔転移	85	P1-3 H1-3 M1 (腹腔外)	M1 (肝十二指腸間膜内、脾裏面、大動脈周囲リンパ節は遠隔)

◎ 直腸についての TNM 分類は結腸の場合と同じ。肛門管は別の規定に従います。

※ 粘膜がん (m) は、TNM に準じ (Tis に分類) 上皮内がん分類します。

付記) 胃と同様に、SS までを限局とし、se,si から隣接臓器浸潤としました。但し、粘膜がん (m) は、大腸がん取扱い規約及び TNM 分類に準じ (Tis に分類) 上皮内がん分類します。なお、漿膜を持たない部位で外膜への浸潤に留まる場合は(a)は限局とします。

10. 肝、肝内胆管※1

進展度	SEER	取扱い規約※5	UICC TNM分類
限局	10, 20 (単発一葉※2) 30, 40 (多発一葉※2) 50 (限局性, NOS)	1 (単発、腫瘍径2cm以下で 脈管侵襲なし※3)	T1 (単発で脈管侵襲無し) T2 (単発で脈管侵襲あり※4、 又は多発性で最大径5cm以下) T3 (最大径が5cmを超える多発腫瘍。 一葉に止まるもの) ※5
所属リンパ節転移	1, 5	N1	n1 (肝門部、肝十二指腸膜内)
隣接臓器浸潤	60 (複数葉直接浸潤、肝外 血管へ進展、肝動脈、大静脈) 65 (二葉にわたる多発結節) 70-80 (肝外胆管、横隔膜、 以遠へ進展)	T4 (T1の3条件全て 合致せず)	T3 (複数葉に浸潤、門脈・肝静脈の 大分枝※6に浸潤) T4
遠隔転移	85 (転移) 6 (噴門、横隔膜リンパ節、他)	M1 P1-2	M1

※1 肝内胆管癌に対しては「腫瘍形成型」及び「その優越型」に適用。

※2 左、右葉を各2区域、尾状葉1区域の計5区域に分けます。

※3 Vp0, Vv0, B0。但し、肝内胆管癌ではB0ではなく漿膜浸潤S0。

※4 Vp2, Vv1, B1まで。

※5 T3で複数葉への浸潤、門脈・肝静脈大分枝への浸潤の有無に関する情報が得られない場合は、隣接臓器浸潤とします。取扱い規約のTのみの場合はT1-2までを限局とします。

※6 Vp3-4, Vv2-3, B2-4。

付記) 肝左葉か右葉のいずれかに限局している場合を限局、二葉にまたがる場合を隣接臓器浸潤としました。取扱い規約でもUICCでもT1またはT4を除けば、Tだけでは限局と隣接臓器浸潤を区分できません。進展度不詳を極力避ける趣旨から、そうしたケースではT2までを限局と分類することにしました。

11. 胆嚢、その他胆道 NOS

進展度	SEER	取扱い規約	UICC TNM分類
限局	10 20 30 (限局性, NOS)	m mp	T1a (m) T1b (mp)
所属リンパ節転移	1-6	n1-2 (TNMと異なる)	n1
隣接臓器浸潤	40-55 (筋周囲結合組織、漿膜、 漿膜を越え浸潤) 60-70 (隣接臓器への浸潤) -80	ss, se, si Hinf1-3 Binf1-3	T2 (ss, s) T3 T4
遠隔転移	85 (転移)	H1-3 P1-3 M(+) (腹腔外遠隔転移) n3	M1

付記) mpまでを限局、筋周囲結合組織、漿膜に浸潤があるか、漿膜を越えて浸潤する場合を、隣接臓器浸潤とします。なお、TNMでssとsとが同じT2に分類されている点、ssを示すSEERコードが無い点を考慮し、ssをも隣接臓器浸潤にしました。

1 2. 肝外胆管

進展度	SEER	取扱い規約	UICC TNM分類
限局	10 20 30 (限局性, NOS)	m fm	T1
所属リンパ節転移	1-6	n1-2 (占拠部位により規定、TNMと異なる)	n1
隣接臓器浸潤	40 (管周囲/筋周囲結合組織) - 65 (隣接臓器へ浸潤) 80	af, ss, se, si V1-3 Hinf1-3	T2 (胆管壁を越えて浸潤) T3 T4
遠隔転移	85 (転移)	H1-3 P1-3 M(+) (腹腔外遠隔転移) n3	M1

付記) mp までを限局、筋周囲結合組織、漿膜に浸潤があるか、漿膜を越えて浸潤する場合を、隣接臓器浸潤とします。なお、TNM で ss と s とが同じ T2 に分類されている点、ss を示す SEER コードが無い点を考慮し、ss をも隣接臓器浸潤にしました。

1 3. 乳頭部

進展度	SEER	取扱い規約	UICC TNM分類
限局	10 -30 (限局性, NOS)	d0 (Oddi 筋肉) fm	T1 (乳頭部に限局)
所属リンパ節転移	1	n1-2 (TNMと異なる)	n1
隣接臓器浸潤	40 (十二指腸/肝外胆管) 50, 60 (脾への浸潤) 70, 80 (その他の隣接臓器)	d1-3 (十二指腸浸潤) Panc1-3	T2 (十二指腸壁浸潤) T3 T4
遠隔転移	85 (転移)	H1-3 P1-3 (Splenic lymph) M(+) (腹腔外遠隔転移) n3	M1

付記) mp までを限局、筋周囲結合組織、漿膜に浸潤があるか、漿膜を越えて浸潤する場合を、隣接臓器浸潤とします。なお、TNM で ss と s とが同じ T2 に分類されている点、ss を示す SEER コードが無い点を考慮し、ss をも隣接臓器浸潤にしました。

1 4. 脾

進展度	SEER	取扱い規約	UICC TNM分類
限局	10-30 30 (限局性, NOS)	T1 (脾に限局、2cm以下) T2 (脾に限局、2cm超える)	T1 (脾に限局、2cm以下) T2 (脾に限局、2cm超える)
所属リンパ節転移	1	n1 n2	n1 (脾門部を含む脾周囲)
隣接臓器浸潤	40- (脾周囲組織へ進展) 60-80 (周辺他臓器に浸潤)	T3 (ch+, du+, st, rp+) T4 (pv+, a+, pl+, 下大静脈、腎、 腎静脈、副腎、大腸、脾への浸潤)	T3 T4
遠隔転移	85 (転移)	M1 n3	M1

付記) 漿膜、脾周囲組織への浸潤がないものを限局としました。

15. 上顎洞

進展度	SEER	UICC TNM分類
上皮内	00	Tis
限局	10 30 (限局性, NOS) 40	T1 (洞粘膜に限局していて骨への浸潤無い) T2 (硬口蓋又は中鼻道を含む下部構造へ進展。 上顎洞後壁及び翼状突起に進展する腫瘍除く)
所属リンパ節転移	1-6	n1-3
隣接臓器浸潤	60 70 -80	T3 T4
遠隔転移	85 (転移)	M1

注) 内眼角と下顎角を通る平面 (Ohngren line) により、上部構造と下部構造とが区分されます。

16. 喉頭

進展度	SEER	UICC TNM分類
上皮内	00	Tis
限局	10 (声門上部、声門、声門下部 -20 (詳細部位の1つに限定) 30 (喉頭の隣接詳細部位に侵襲) 40 (喉頭に限定した腫瘍で声帯の固定を伴う) 50 (限局性, NOS)	T1 T2 T3
所属リンパ節転移	1-6	n1-3
隣接臓器浸潤	60, 70 (甲状軟骨又は輪状軟骨に浸潤、 中咽頭、頸部の軟部組織に進展) 80	T4
遠隔転移	85 (転移)	M1

注) TNM では詳細部位 (声門上、声門、声門下) 毎に T を規定。SEER では一括表現しています。本案では、SEER の規定に基づき表現しています。なお、声門上部は 5 つ、声門は 3 つの亜部位に分類されます。

17. 主気管支・気管支・肺

進展度	SEER	UICC TNM分類
上皮内	00	Tis
限局	10-30 (一側肺に限局)	T1 (3cm以下) T2 (3cmを超える。主気管支への浸潤が分岐から2cm以上離れている)
所属リンパ節転移	1-5	n1 (同側気管支周囲、肺門) n2 (同側縦隔、分岐下)
隣接臓器浸潤	40-70 71-75 (臓側心膜、悪性胸水) 78 (対側肺、主気管支進展) -80	T2 (臓側胸膜、肺門に及び無気肺) ※1 T3 (胸壁、横隔膜、縦隔胸膜、壁側心膜、2cm以内の主気管支、全肺の無気肺) T4 (心、大血管、気管、食道、分岐、臓側心膜、悪性胸水、肋骨、胸骨、椎体、 対側肺、対側主気管支進展)
遠隔転移	85 (転移)	M1 (同側の胸郭以外に遠隔転移巣) ※2 n3 (対側縦隔、肺門：同側/対側斜角筋前、鎖骨上)

※1 T2 で臓側胸膜、肺門に及び無気肺の有無に関する情報がない場合は、限局とします。

※2 転移巣が原発巣と同側の肺に限られる場合は、隣接臓器浸潤に区分します。

付記) 一側肺に限局している場合を限局としますが、胸膜浸潤のあるもの、肺門に及び無気肺のある場合は、隣接臓器浸潤とします。転移巣が原発巣と同側の肺に限られる場合は、遠隔転移ではなく、隣接臓器浸潤に区分します。

18. 骨

進展度	SEER	UICC TNM分類
限局	10-30	T1-2（最大径により区分<=8cm, >8cm。骨に限局するもの）※
所属リンパ節転移	1	n1（原発部位により規定）
隣接臓器浸潤	40 60（隣接骨） 70（皮膚） -80	T1-2（骨膜貫通、骨格筋を含む周辺組織に進展するもの）※ T3
遠隔転移	85 7（遠隔リンパ）	M1

注）TNMによるStage分類では、病理組織学的悪性度（低悪性度、高悪性度）も考慮されます。

※ T1-2で骨膜貫通、骨格筋を含む周辺組織進展の有無に関する情報がない場合、T1なら限局、T2なら隣接臓器浸潤とします。

付記）TNMは最大径を基準にしており、進展度との対応を示すことが困難であるが、隣接する組織への浸潤の有無をみて判定します。

19. 結合組織及びその他の軟部組織

進展度	SEER	UICC TNM分類
限局	10-30（限局性、NOS）	T1-2※（最大径により区分<=5cm, >5cm）
所属リンパ節転移	1	n1（原発部位により規定）
隣接臓器浸潤	40（隣接結合組織） 60（隣接臓器/構造） -80	T1-2※ （最大径により区分）
遠隔転移	85 7（遠隔リンパ）	M1

注）TNMによるStage分類では、病理組織学的悪性度（低悪性度、高悪性度）も考慮されます。

※ T1-2で隣接結合組織・臓器への浸潤の有無に関する情報がない場合、T1なら限局、T2なら隣接臓器浸潤とします。

付記）TNMは最大径を基準にしており、進展度との対応を示すことが困難であるが、隣接する組織への浸潤の有無をみて判定します。

20. 黒色腫以外の皮膚がん

進展度	SEER	UICC TNM分類
上皮内	00（表皮内、in situ病）	Tis
限局	10（真皮に限局） 40（限局性NOS）	T1-3※（最大径により区分<=2cm, 2<=5, >5cm）
所属リンパ節転移	1（原発部位により決定）	n1
隣接臓器浸潤	50（皮下組織へ浸潤） 70（軟骨、骨、骨格筋へ浸潤） -80	T1-3※（最大径により区分） T4
遠隔転移	85（転移） 7（遠隔リンパ）	M1

※ T1-3で皮下組織以遠への浸潤の有無に関する情報がない場合は、限局とします。

付記）TNM分類では、黒色腫以外の皮膚がんについては最大径により、黒色腫については厚さにより、それぞれ進行度を区別していますが、隣接する組織への浸潤の有無をみて判定します。

21. 皮膚（外陰、陰茎、陰嚢を含む）の悪性黒色腫

進展度	SEER	UICC TNM分類
上皮内	00（表皮内）	pTis
限局	10-41（真皮に限局）	pT1-4（厚さにより分類※ ≤1mm, 1<≤2mm, 2<≤4mm, >4mm）
所属リンパ節転移	1-5（原発部位と大きさにより規定）	n1-3
隣接臓器浸潤	50, 51（皮下組織へ浸潤） 60-64（衛星結節） 70（軟骨、骨、骨格筋へ浸潤） 80	pT1-4※
遠隔転移	85-87 7（遠隔リンパ）	M1

※ 皮下組織以遠への浸潤の有無に関する情報がない場合は、T1-3では限局。T4では隣接臓器浸潤とします。
付記）TNM分類では、黒色腫以外の皮膚がんについては最大径により、黒色腫については厚さにより、それぞれ進行度を区別していますが、隣接する組織への浸潤の有無をみて判定します。

22. 乳房

進展度	SEER	UICC TNM分類
上皮内	00	Tis（非浸潤又は腫瘍を認めないPaget病）
限局	10（乳腺組織、脂肪に限局）	T1（2cm以下）、T2（2.0<≤5.0）、T3（5.0<） （胸筋浸潤無いもの）
所属リンパ節転移	1-7	N1-3
隣接臓器浸潤	20（皮膚へ浸潤） 30（胸筋へ浸潤） 40（胸壁、軟骨、肋間筋、他） 50（広範皮膚浸潤） 70（炎症性がん） 80	T1-3（胸筋浸潤あるもの）※ T4（胸壁又は皮膚に直接進展）
遠隔転移	85 8（対側/両側腋窩、内乳房、鎖骨下：鎖骨上）	M1 N3c（同側鎖骨上リンパ節）

※ T1-3で胸筋浸潤の有無に関する情報がない場合は、限局とします。

付記）乳腺組織・脂肪に限局している場合を限局とし、皮膚・胸筋浸潤のある場合を隣接臓器浸潤とします。TNMでは、同側鎖骨上リンパ節も所属リンパ節と分類していますが、従来との整合性を重視し、進展度では遠隔としました。

23. 子宮頸部

進展度	SEER	FIGO進行期	UICC TNM分類
上皮内	00, 01	0	Tis
限局	11 -31（頸部に限局）	I	T1（頸部に限局）
所属リンパ節転移	1 （TNMと同じ）	n1	n1
隣接臓器浸潤	35（体部へ浸潤） -65（骨盤壁へ） 70（直腸、膀胱粘膜に進展） -80	I II III IVA	T1（体部浸潤）※ T2（子宮を越える） T3（骨盤壁、膣下1/3へ） T4（直腸、膀胱粘膜に進展）
遠隔転移	85（転移） 6（大動脈傍、周囲、側リンパ節）	IVB	M1

※ T1で体部への浸潤の有無に関する情報がない場合は、限局とします。

付記）利用頻度の高い、FIGO分類とTNM分類との関連を示しました。

24. 子宮体部、胎盤、及び子宮 NOS

進展度	SEER	FIGO進行期	UICC TNM分類
上皮内	00	O	Tis
限局	10 -15, -25, -35 (漿膜浸潤) -40 (限局性, NOS)	I	T1 (体部に限局)
所属リンパ節転移	1-5 (TNMと同じ、大動脈傍、周囲、側リンパ節を含む)	n1	n1
隣接臓器浸潤	50 (頸部へ浸潤) 60 (真の骨盤内へ進展) 70 (直腸、膀胱粘膜に進展) -80	II III IVA (膀胱、直腸の粘膜に浸潤、 真の骨盤を越えて進展)	T2 (頸部浸潤) T3 (子宮を越える) T4
遠隔転移	85 (転移) 6 (鼠径リンパ節)	IVB	M1

付記) 利用頻度の高い、FIGO 分類と TNM 分類との関連を示しました。

25. 卵巣

進展度	SEER	FIGO進行期	UICC TNM分類
限局	10 -30 (限局性, NOS)	I IA IB	T1 (卵巣に限局) T1a (一側) T1b (両側)
所属リンパ節転移	1-5 (TNMと同じ、大動脈、後腹膜、鼠径リンパ節を含む)		n1
隣接臓器浸潤	40 (被膜破綻、表面露出) -42 -62 (骨盤に進展) -70 (骨盤外の腹膜へ) 71-80	IC II II※2	T1c (被膜破綻、表面露出、腹水・ 洗浄液に悪性細胞)※1 T2 (骨盤に進展) T3 (骨盤外の腹膜へ転移)
遠隔転移	85 (転移) 7 (遠隔リンパ節)	IV	M1 (遠隔転移)

※1 T1 で被膜破綻、表面露出、腹水・洗浄液の悪性細胞の有無に関する情報がない場合は、限局とします。

※2 n1 を含みます。

付記) 利用頻度の高い、FIGO 分類と TNM 分類との関連を示しました。

26. 前立腺

進展度	SEER	UICC TNM分類
限局	10 -40 (被膜に浸潤)	T1 (臨床上不顕) T2 (限局)
所属リンパ節転移	1-5 (TNMと同じ)	n1 (所属リンパ節転移)
隣接臓器浸潤	50 (周囲に浸潤) -60 (膀胱/直腸へ) 70 (骨盤骨・壁に進展) -80	T3 (被膜を越えて浸潤) T4 (精嚢以外の隣接組織：膀胱/直腸、骨盤壁に浸潤)
遠隔転移	85 (転移) 6 (大動脈、後腹膜、総腸骨、鼠径リンパ節)	M1

27. 精巣

進展度	SEER	UICC TNM分類
限局	10（精巣体/白膜に限定） -30（限局性, NOS）	pT1 pT2
所属リンパ節転移	1-3 5	n1-3（大きさと数により）
隣接臓器浸潤	40（副睾丸） 50（精索） 60（陰囊） 70（対側陰嚢潰瘍化） 75（陰茎） -80	pT3（精索浸潤） pT4（陰嚢浸潤）
遠隔転移	85（転移） 6（鼠径リンパ節） 7（縦隔、鎖骨上窩、他）	M1

28. 膀胱

進展度	SEER	UICC TNM分類
上皮内	00, 05	Tis (CIS)、Ta（非浸潤・乳頭状）
限局	10 -30（限局性, NOS）	T1（粘膜下結合組織まで） T2（筋層に浸潤）
所属リンパ節転移	1-5 （TNMと同じ）	n1-3
隣接臓器浸潤	40（漿膜下組織） -70（膀胱の固定） 75（骨盤壁・腹壁進展） -80	T3（膀胱周囲組織浸潤） T4a（前立腺/子宮/膣） T4b（骨盤壁・腹壁進展）
遠隔転移	85（転移） 6（総腸骨） 7（大動脈、他）	M1

29. 腎臓

進展度	SEER	UICC TNM分類
限局	10 -30（限局性, NOS）	T1（7cm以下、腎に限局） T2（7cmを超え腎に限局）
所属リンパ節転移	1-5 （TNMと同じ、腎門、傍大静脈、大動脈リンパ節）	n1（1個の所属リンパ節転移） n2（2個以上の所属リンパ節転移）
隣接臓器浸潤	40 -65 （Gerota筋膜を越えて、同側尿管、右側から上行結腸、十二指腸、左腎から下行結腸；腹膜、横隔膜に進展） 70, 75（肋骨、脾、肝、胃に進展） -80	T3（腎周囲組に進展、Gerota筋膜を越えない） T4（Gerota筋膜を越えて進展）
遠隔転移	85（転移）	M1

30. 腎盂、尿管

進展度	SEER	UICC TNM分類
上皮内	00 05	Tis（上皮内） Ta（乳頭状非浸潤）
限局	10 -30（限局性, NOS）	T1（上皮下結合組織） T2（筋層に浸潤）
所属リンパ節転移	1-5 （TNMと同じ、腎門、傍大静脈、大動脈リンパ節、さらに尿管については、骨盤内リンパ節）	n1-3
隣接臓器浸潤	40 -65 （遠位尿管から膀胱へ） 66 （主要血管へ進展） 70 -80	T3（腎盂：腎周囲脂肪組織、腎実質に進展。 尿管：尿管周囲脂肪組織に進展） T4（隣接臓器浸潤、腎経路で腎周囲脂肪組織へ進展、脾、膵、肝、結腸）
遠隔転移	85（転移）	M1

31. 脳及び脳髄膜

進展度	SEER
限局	10-12（大脳、小脳、脳幹の1側に限定） 20（テント下腫瘍の1側に限定） 30（脳室に限定、脳室系へ浸潤）
所属リンパ節転移	<該当なし>
隣接臓器浸潤	40（正中線を越える侵襲） 50,51（テント上から下又は逆） 60（頭蓋骨、髄膜、主要血管、脳神経へ浸潤） 70（中枢神経系の外側へ進展） -80
遠隔転移	85（転移）

注）第4版で採用された脳及び脳髄膜のTNM分類は、予後成績に著しい有用性が認められず、第五版以降削除されています。

32. 甲状腺

進展度	SEER	UICC TNM分類
限局	10 -40	T1-3（甲状腺に限局、最大径により区分、但し、未分化癌の場合を除く。）
所属リンパ節転移	1-3 5	n1
隣接臓器浸潤	50 -80	T4（被膜周囲軟部/結合組織に進展、もしくは、未分化癌の場合）
遠隔転移	85（転移）	M1

注）SEERでは顎下リンパ節を遠隔節としています。TNMでは特に規定がなく、頸部節の1つとしており、本案でも所属リンパ節と扱いました。なお、TNMのStage分類では、組織型が未分化癌の場合は全てT4とします。

33. 副腎

進展度	SEER	取扱い規約
限局	10（副腎に限定） 30（限局性, NOS）	T1, 2（最大径により区分）
所属リンパ節転移	1（所属リンパ節）	n1-3
隣接臓器浸潤	40（隣接結合組織） 60（隣接臓器/構造） 80	T3（副腎の被膜を越え周囲脂肪組織に浸潤） T4（隣接臓器へ浸潤）
遠隔転移	85（遠隔）	M1, n4

34. 悪性リンパ腫

進展度	SEER	Ann Arbor分類
限局	10, 11 (単一のリンパ節又はリンパ節外臓器)	Stage I
所属リンパ節転移	〈該当なし〉	
隣接臓器浸潤	20, 21 (横隔膜の上下一方に限定。複数)	Stage II
遠隔転移	30, 31 (横隔膜の上下両側に侵襲) -80 (1個以上のリンパ節外臓器の散在性侵襲)	Stage III Stage IV

付記) SEER、及び Ann Arbor 分類の考え方に準拠して進展度を定義されています。